

令和7年度
千葉市 盲ろう者実態調査
報告書



目次

第1部 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査の方法	1
4. 訪問調査結果	1
5. 調査期間	1
6. 調査項目	1
7. 利用上の注意	1
第2部 結果の概要	15
第1章 調査対象者と調査協力者	15
1. 調査対象者の居住区	15
2. 調査協力者の居住区	15
第2章 調査対象者の基本的属性	16
1. 年齢、性別	16
2. 視聴覚障害組み合わせ(等級)	17
3. 視聴覚障害組み合わせ(状態・程度)	19
4. 視聴覚障害の受障経緯	21
5. 可能および最も円滑な発信コミュニケーション方法	23
6. 可能および最も円滑な受信コミュニケーション方法	25
第3章 調査項目	27
1. 本人の属性	27
(1)基本項目	27
問1 氏名	27
問2 年齢	27
問3 性別	27
(2)住まい	27
問4 住まい	27
(3)障害の状況	30
問5 視覚障害の発障年齢	30
問6 視覚障害の進行	32
問7 視力の状態	34
問7-1 視野の状態	37

問8 視覚障害等級	38
問9 聴覚障害の発障年齢	40
問10 聴覚障害の進行	42
問11 聴力の状態	44
問12 聴覚障害等級	47
問13 視覚・聴覚以外の障害の有無	49
問13-1 視覚・聴覚以外の障害の種類と等級	51
問14 障害者手帳の総合等級	52
問15 障害支援区分認定	54
問15-1 障害支援区分	56
(4) 職業等	57
問16 就業	57
問16-1-(1) 就業の形態	57
問16-1-(2) 就労時間(週)	57
問16-1-(3) 就労先での勤務内容	58
問16-1-(4) 勤続年数	58
問16-2 通学している学校の種類	58
問17 通勤(通学)介助の要不要	58
問18 通勤(通学)の方法	58
2. コミュニケーション方法	59
問19 可能な発信コミュニケーション方法	59
問20 最も円滑な発信コミュニケーション方法	61
問21 独力での発信能力	63
問22 可能な受信コミュニケーション方法	65
問23 最も円滑な受信コミュニケーション方法	67
問24 独力での受信能力	69
問25 遠隔地への連絡コミュニケーション方法	71
問26 会話頻度	73
問27 相手別会話頻度	75
3. 生活の状況	76
(1)外出	76
問28 単独移動能力	76
問29 支援を受けた場合の移動能力	78

問30 外出頻度	80
問31 目的別外出頻度	82
問32 相手別外出頻度.....	83
問33 白杖の利用	84
(2)同居者	85
問34 同居者	85
問35 同居者とのコミュニケーション方法.....	87
4. 情報入手	88
問36 文章を読むときの使用文字	88
問37 独力での情報入手能力	89
問38 情報入手頻度	92
問39 手段別情報入手頻度	94
5. 災害時の避難について.....	95
問40 災害時の支援者.....	95
問41 避難所の場所や避難経路の認知	98
問42 災害への備え	101
問43 過去の災害で困ったこと(自由記述)	102
問44 災害に対する具体的な不安(自由記述).....	102
問45 あなたが必要だと思う支援について(自由記述)	102
6. 福祉サービスの認知状況・利用状況・不利用の理由	103
問46 人的支援による福祉サービス利用の有無	103
問47 人的福祉サービス不利用の理由	104
問48 人的支援による福祉サービスの利用希望有無.....	105
問49 介護保険サービス利用有無.....	106
問49-1 要支援・要介護度	106
問50 補装具・日常生活用具の支給・給付有無	106
問50-1 給付・支給済の補装具・日常生活用具	107
問51 ヘルプカードの認知	108
問52 利用を希望するサービス	108
問53 生活全般の困難・ニーズ(自由記述)	109
問54 盲ろう者関係団体からの案内の希望の有無.....	110

第1部 調査の概要

1. 調査の目的

市内の盲ろう者の生活実態を明らかにするとともに、今後の本市における盲ろう者への支援施策の検討の基礎資料とする。

また、同調査を通じて盲ろう者への支援制度や、各種福祉サービス等の周知をすることにより、盲ろう者の福祉の増進と支援につなげることを目的に実施とする。

2. 調査の対象

市内で在宅又は施設にて生活している盲ろう者

(参考)視覚・聴覚両方に係る身体障害者手帳を取得している者 38名

3. 調査の方法

訪問調査 盲ろう者の自宅を訪問のうえ、直接盲ろう者本人から聴き取り調査を行う。

4. 訪問調査結果

対象者は38名いたが、実際に自宅等を訪問し本人などから調査を行ったのは17名。

8月に全対象者に調査の目的、調査希望日などの案内を郵送した。(令和7年8月6日36名、10月7日16名、10月23日10名。2回目以降は、返信のなかった対象者に対して再送をした。)

返答があった対象者17名に対しては、調査希望日に応じて千葉市障害者自立支援課職員1名とNPO法人千葉盲ろう者友の会の聴き取り調査担当者2名(通訳・介助者を含む)の3名態勢で訪問調査を行った。

訪問調査の月別内訳

9月 9名、10月 7名、11月 1名

※すでに死亡や転居がわかった者、面談を希望しない者、回答なしの者に対しては、訪問調査を行っていない。

5. 調査期間

令和7年8月～令和8年2月11日

6. 調査項目

調査項目は、別紙1のとおりである。

7. 利用上の注意

結果の概要については、17名の調査協力者からの回答について記す

盲ろう者生活実態調査 調査票調査項目

1 本人の属性

(1)基本項目

問1 あなたの名前をお答えください。

問2 あなたの年齢をお答えください。(2026年3月31日時点の年齢)

問3 あなたの性別について、あてはまるもの1つに○をしてください。

1 男 2 女 3 その他 4 答えたくない

(2)住まい

問4 お住まいについて、以下の選択肢のうち、あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 自分や家族の持家(一戸建て)
- 2 自分や家族の持家(マンション、アパート等)
- 3 民間賃貸住宅(一戸建て)
- 4 民間賃貸住宅(マンション、アパート等)
- 5 公営住宅(県営住宅・市営住宅など)
- 6 社宅・職員寮・寄宿舍等の宿舍
- 7 グループホーム
- 8 入所型施設
- 9 その他(具体的に:)

(3)障害の状況

【目の障害に関する質問です。】

問5 目(視覚)の障害が生じはじめたのは何歳ごろですか。

問6 目(視覚)の障害が生じはじめてから、障害の状態は進行(悪化)していますか。

- 1 かなり進行(悪化)している
- 2 やや進行(悪化)している
- 3 進行していない

問7 現在の視力の状態について、以下の選択肢から、あてはまるものを1つ○をしてください。

- 1 光も感じない
- 2 電灯等の明るい光は見える
- 3 目の前で手を動かせばわかる
- 4 目の前に出された指の本数が数えられる
- 5 大きな文字(新聞の見出しなど)を読める
- 6 小さな文字(新聞の記事など)を読める

※ 3～6の回答の方については、問7-1に進む。

問7-1 現在の視野の状態について、以下の選択肢から、あてはまるものを1つ○をしてください。

- 1 視野に障害はない
- 2 中心が見えにくい
- 3 周辺が見えにくい
- 4 その他(具体的に:)

問8 身体障害者手帳に記載してある視覚障害の等級をお答えください。

【耳の障害に関する質問です】

問9 耳(聴覚)の障害が生じはじめたのは何歳ごろですか。

問10 耳(聴覚)の障害が生じはじめてから、障害の状態は進行(悪化)していますか。

- 1 かなり進行(悪化)している
- 2 やや進行(悪化)している
- 3 進行していない

問11 現在の耳(聴覚)の状態について、以下の選択肢から、あてはまるものを1つ○をしてください。

- 1 話し声をまったく聞き取れない
- 2 補聴器をつければ、耳元で話し声なら聞き取れる
- 3 少し離れても大きな話し声なら聞き取れる

問12 身体障害者手帳に記載してある聴覚障害の等級をお答えください。

【障害全般に関する質問です】

問13 視覚と聴覚以外に障害はありますか。

- 1 ある(問13-1に進む)
- 2 ない

問13-1 (視覚と聴覚以外に障害のある方)に該当する障害の種類と等級をお答えください。

- 1 音声・言語・そしゃく機能障害、2 平衡機能障害、3 肢体不自由(上肢・下肢等)、4 内部障害、5 精神障害、6 知的障害

問14 あなたの身体障害者手帳に記載してある総合等級をお答えください。

問15 障害者総合支援法の障害支援区分の認定を受けていますか。

- 1 認定を受けている(問15-1に進む)
- 2 申請したが、非該当だった
- 3 申請をしていない
- 4 その他()

問15-1 (障害支援区分の認定を受けている方)障害支援区分はいくつですか。

(4)職業等

問16 あなたは日中どのように過ごしていますか。

- 1 就業している(問16-1に進む)
- 2 施設に通所している
- 3 通学している(問16-2に進む)
- 4 いずれもしていない

問16-1-(1) 就業の形態をお答えください。

- 1 正職員
- 2 正職員以外(契約・嘱託職員、パート、アルバイト)
- 3 派遣社員
- 4 自営業

問16-1-(2) 週何時間程度勤務していますか。

問16-1-(3) 就労先での勤務内容を具体的に教えてください。

問16-1-(4) 現在の就労先の勤続年数は何年くらいですか。

問16-2 通学している学校の種類をお答えください。

- 1 小学校
- 2 中学校
- 3 高等学校
- 4 大学
- 5 専門学校
- 6 特別支援学校()
- 7 その他(具体的に:)

問17 通勤(通学)は一人で行っていますか、若しくは介助が必要ですか。

- 1 (介助を受けずに)一人で通勤(通学)できる
- 2 介助が必要(介助者:)

問18 通勤(通学)の方法をお答えください。

- 1 公共交通機関(電車)
- 2 公共交通機関(バス)
- 3 自動車(あなたの運転)
- 4 自動車(あなた以外の運転)
- 5 スクールバスまたは就業先の専用バス
- 6 徒歩
- 7 その他(具体的に:)

2 コミュニケーション方法

問19 あなたの言葉を相手に伝えるとき(話すとき)に使っているコミュニケーション方法をすべてお答えください。

- 1 音声
- 2 手話

- 3 触手話
- 4 指文字(ローマ字式・日本語式)
- 5 文字(筆談・空書き・てのひら書き)
- 6 指点字
- 7 その他(具体的に:)
- 8 特にない

問20 問19でお答えになった方法のうち、最もスムーズにコミュニケーションできる方法について、あてはまる方法を1つ○をしてください。

- 1 音声
- 2 手話
- 3 触手話
- 4 指文字(ローマ字式・日本語式)
- 5 文字(筆談・空書き・てのひら書き)
- 6 指点字
- 7 その他(具体的に:)
- 8 特にない

問21 手話や指文字、点字などを知らない健常者に、自分の言いたいことを、お一人での程度、伝えることができますか、1つ○をしてください。

- 1 まったく伝えられない
- 2 あまり伝えられない
- 3 どちらともいえない
- 4 かなり伝えられる
- 5 すべて伝えられる

問22 あなたが相手の言葉を受け取るとき(聞くとき)に使っているコミュニケーション方法をすべてお答えください。

- 1 音声
- 2 手話
- 3 触手話
- 4 弱視手話
- 5 指文字(ローマ字式・日本語式)
- 6 文字(筆談・空書き・てのひら書き)
- 7 点字筆記
- 8 指点字
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない

問23 問22でお答えになった方法のうち、最もスムーズにコミュニケーションできる方法について、あてはまる方法を1つ○をしてください。

- 1 音声
- 2 手話
- 3 触手話
- 4 弱視手話
- 5 指文字(ローマ字式・日本語式)
- 6 文字(筆談・空書き・てのひら書き)
- 7 点字筆記
- 8 指点字
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない

問24 手話や指文字、点字などを知らない健常者の言いたいことを、お一人でどの程度、理解することができますか、1つ○をしてください。

- 1 まったく理解できない
- 2 あまり理解できない
- 3 どちらともいえない
- 4 かなり理解できる
- 5 すべて理解できる

問25 遠隔地にいる方に対して連絡をとるコミュニケーション方法をお答えください。

- 1 電話
- 2 FAX
- 3 電子メール
- 4 特にない

問26 あなたはおおむねこの一年(2024年7月1日～2025年6月30日)の間にどの程度、他者と会話しましたか。

- 1 毎日
- 2 1週間に5～6日程度
- 3 1週間に3～4日程度
- 4 1週間に1～2日程度
- 5 2週間に1～2日程度
- 6 一ヶ月に1～2日程度
- 7 ほとんど会話していない
- 8 まったく会話していない

問27 あなたはおおむねこの一年(2024年7月1日～2025年6月30日)の間に、次にあげる方と、どの程度会話しましたか。

1 よく会話する 2 ときどき会話する 3 まったく会話しない から選択

1) 家族・親族

- 2) 友人(盲ろう者)
- 3) 友人(盲ろう者以外)
- 4) 3)以外の障害者の集まりの仲間
- 5) 近隣住民(隣人・店員など)
- 6) ボランティア
- 7) 職場の同僚・上司
- 8) ガイドヘルパー(同行援護従事者)
- 9) ホームヘルパー
- 10) 手話通訳者・要約筆記者
- 11) 盲ろう者向け通訳・介助員
- 12) 通所・入所施設(相談支援事業所)の職員
- 13) 障害者団体関係者
- 14) 医療関係者
- 15) 教育機関関係者
- 16) 民生委員・児童委員
- 17) その他()

3 生活の状況

(1)外出

問28 他者や盲導犬などの支援を受けずに、おひとりでどの程度、移動することができますか、あてはまるもの1つに○をしてください。

※選択肢1の移動範囲を最小、選択肢6の移動範囲を最大としたときに、あなたが移動できる最大のものを選択してください。

- 1 自宅内の移動ができない
- 2 自宅内の移動はできる
- 3 自宅周辺の歩行はできる
- 4 最寄りのバス停や駅まで外出できる
- 5 バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる
- 6 バスや電車の交通機関を利用して知らないところに外出できる

問29 必要な支援を受けた場合には、どの程度、移動することができますか。

- 1 自宅内の移動ができない
- 2 自宅内の移動はできる
- 3 自宅周辺の歩行はできる
- 4 最寄りのバス停や駅まで外出できる
- 5 バスや電車の交通機関を利用して知っている所に外出できる
- 6 バスや電車の交通機関を利用して知らないところに外出できる

支援の内容(自由記載)

問30 おおむねこの1年(2024年7月1日～2025年6月30日)の間に、どの程度、外出をしましたか。

- 1 毎日
- 2 1週間に5～6日程度
- 3 1週間に3～4日程度
- 4 1週間に1～2日程度
- 5 2週間に1～2日程度
- 6 1ヶ月に1～2日程度
- 7 ほとんど外出していない
- 8 まったく外出していない

問31 おおむねこの1年(2024年7月1日～2025年6月30日)の間に、どの程度、次にあげる目的で外出をしましたか。

1 よくある 2 ときどきある 3 まったくない から選択

- 1) 通勤・通学
- 2) 通所(施設やデイサービスなど)
- 3) 通院(病院や診療所など)
- 4) 金融機関(銀行・郵便局など)
- 5) 買い物
- 6) 公的機関(役所、福祉事務所など)
- 7) 盲ろう者団体の会合・行事への参加
- 8) 7)以外の団体の会合・行事への参加
- 9) 飲食、旅行、スポーツなどの余暇活動
- 10) 別居の家族・親族、友人、知人に会う
- 11) その他()

問32 あなたはおおむねこの1年(2024年7月1日～2025年6月30日)の間に、次にあげる方と、どの程度、一緒に外出をしましたか。

1 よく外出する 2 ときどき外出する 3 まったく外出しないから選択

- 1) 家族・親族
- 2) 友人(盲ろう者)
- 3) 友人(盲ろう者以外)
- 4) 3)以外の障害者の集まりの仲間
- 5) 近隣住民(隣人・店員など)
- 6) ボランティア
- 7) 職場の同僚・上司
- 8) ガイドヘルパー(同行援護従事者)

- 9) ホームヘルパー
- 10) 手話通訳者・要約筆記者
- 11) 盲ろう者向け通訳・介助員
- 12) 通所・入所施設(相談支援事業所)の職員
- 13) 障害者団体関係者
- 14) 医療関係者
- 15) 教育機関関係者
- 16) 民生委員・児童委員
- 17) その他()

問33 外出の際には白杖を利用していますか。

- 1 している 2 していない 3 持っているが利用していない

(2)同居者

問34 誰と一緒に暮らしていますか。

- 1 夫婦で暮らしている
- 2 親と暮らしている
- 3 子と暮らしてる
- 4 兄弟姉妹と暮らしている
- 5 その他の人と暮らしてる(具体的に:)
- 6 一人で暮らしている

問35 同居者とのコミュニケーション方法をお答えください。

- 1 音声
- 2 手話
- 3 触手話
- 4 弱視手話
- 5 指文字(ローマ字式・日本語式)
- 6 文字(筆談・空書き・手のひら書き)
- 7 点字筆記
- 8 指点字
- 9 その他(具体的に:)
- 10 コミュニケーションがとれない

4 情報入手方法

問36 文章を読むときに使うことのできる方法を全てお答えください。

- 1 文字・活字(拡大したものを含む)

- 2 点字
- 3 その他(具体的に:)
- 4 特になし

問37 他者の支援を受けずに、おひとりでどの程度、ご自身の関心のあるニュースなどの情報を得ることができますか。

- 1 まったく得ることができない
- 2 あまり得ることができない
- 3 どちらともいえない
- 4 かなり得ることができる
- 5 すべて得ることができる

問38 おおむねこの1年(2024年7月1日～2025年6月30日)の間に、どの程度、ご自分の関心あるニュースなどの情報を得ましたか。

- 1 毎日
- 2 1週間に5～6日程度
- 3 1種間に3～4日程度
- 4 1週間に1～2日程度
- 5 2週間に1～2日程度
- 6 1ヶ月に1～2日程度
- 7 ほとんど情報を得ていない
- 8 まったく情報を得ていない

問39 おおむねこの1年(2024年7月1日～2025年6月30日)の間に、次にあげるところから、どの程度、ご自分の関心のあるニュースなどの情報を得ていますか

1 よく情報を得る 2 ときどき情報を得る 3 まったく情報を得ない から選択

- 1) 一般図書・新聞・雑誌
- 2) 録音図書・点字図書
- 3) インターネット(SNS・ホームページ・電子メール等)
- 4) ファックス
- 5) テレビ(一般放送)
- 6) 手話放送
- 7) ラジオ
- 8) 自治体広報
- 9) 家族・支援者
- 10) その他()

5 災害時の避難について

問40 災害時に支援をしてくれる人はいますか

- 1 いる(具体的には:)
- 2 いない

問41 お近くの避難所の場所や避難経路を知っていますか。

- 1 避難所も避難経路も知っている
- 2 避難所は知っているが避難経路は確認していない
- 3 避難所も避難経路も知らない

問42 あなたが行っている災害への備えをすべてお答えください。

- 1 家具の転倒防止
- 2 食糧・飲料などの備蓄
- 3 非常用持ち出しバックの準備
- 4 家族同士の安否確認方法を決める
- 5 その他(具体的に:)

問43 過去の災害で困ったことをお答えください。

問44 あなたが、災害に対してもっている具体的な不安をお答えください。

問45 あなたが、必要だと思う支援についてお答えください。

6 福祉サービスの認知状況・利用状況・不利用の理由

問46 あなたは日常生活を送るうえで、人的支援による福祉サービスを利用していますか。

盲ろう者向け通訳介助員派遣、手話通訳者・要約筆記者派遣、視覚障害者向け移動支援・同行援護、ホームヘルパー派遣、その他福祉サービス(サービス名:)について

- 1 毎日
- 2 1週間に5～6日程度
- 3 1週間に3～4日程度
- 4 1週間に1～2日程度
- 5 2週間に1～2日程度
- 6 1ヶ月に1～2日程度
- 7 ほとんど利用していない
- 8 まったく利用していない

問47 人的支援による福祉サービスを利用していない理由について、あてはまるものすべてをお答えください。

- 1 福祉サービスがあることを知らなかった
- 2 移動やコミュニケーションのことは自分でできるから
- 3 家族がサポートしてくれるから

- 4 福祉サービスの利用の仕方がよくわからない
- 5 サービスを利用するまでの手続きが面倒だから
- 6 その他(具体的に:)

問48 あなたは日常生活を送るうえで、今後、人的支援による福祉サービスの利用を希望しますか。

盲ろう者向け通訳介助員派遣、手話通訳者・要約筆記者派遣、視覚障害者向け移動支援・同行援護、ホームヘルパー派遣、その他福祉サービス(サービス名:)について。

- 1 毎日
- 2 1週間に5～6日程度
- 3 1週間に3～4日程度
- 4 1週間に1～2日程度
- 5 2週間に1～2日程度
- 6 1ヶ月に1～2日程度
- 7 ほとんど希望しない
- 8 まったく希望しない

問49 介護保険によるサービスを利用していますか。

- 1 利用している(49-1に進む)
- 2 利用していない

問49-1 要支援・要介護度はいくつですか

要支援1・要支援2 要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5

問 50 あなたは行政から補装具や日常生活用具の支給・給付を受けていますか。

- 1 支給・給付を受けている(問50-1に進む)
- 2 支給・給付を受けていない

問 50-1 支給・給付を受けているすべてお答えください。

- 1 盲人用安全つえ(白杖)
- 2 義眼
- 3 眼鏡(矯正眼鏡・遮光眼鏡・コンタクトレンズ・弱視眼鏡)
- 4 電磁調理器
- 5 盲人用体温計
- 6 盲人用体重計
- 7 盲人用時計
- 8 点字ディスプレイ
- 9 点字器
- 10 点字タイプライター
- 11 視覚障害者用拡大読書器
- 12 視覚障害者用ポータブルレコーダー(プレクストーク)

- 13 視覚障害者用読み上げ装置(文字を音声に変えて知らせる機器)
- 14 歩行時間延長信号機用小型送信機(歩行者用信号の時間を延長する機器)
- 15 補聴器
- 16 聴覚障害者用屋内信号装置(物音や光を振動に変えて知らせる機器)
- 17 聴覚障害者用通信装置(ファックス)
- 18 聴覚障害者用情報受信装置(CS 放送受信機「アイドラゴン」)
- 19 その他(用具名:)

問51 ヘルプカードを知っていますか。

- 1 すでに利用している 2 知っている 3 知らない

問52 利用を希望するサービスを全てお答えください。

- 1 自分のコミュニケーション方法の訓練
- 2 自分以外の人(家族・友人など)のコミュニケーション方法の訓練
- 3 同じ障害のある人と交流できる場
- 4 創作活動やリクリエーションができる場
- 5 常時支援を受けながら生活を送ることのできる場
- 6 その他(具体的に:)

問53 あなたが生活をしている中で困っていること、不安に思っていること、必要だと感じる支援があればお答えください。

問54 盲ろう者関係団体からの案内の送付を希望しますか。

- 1 希望する 2 希望しない

第2部 結果の概要

第1章 調査対象者と調査協力者

1. 調査対象者の居住区

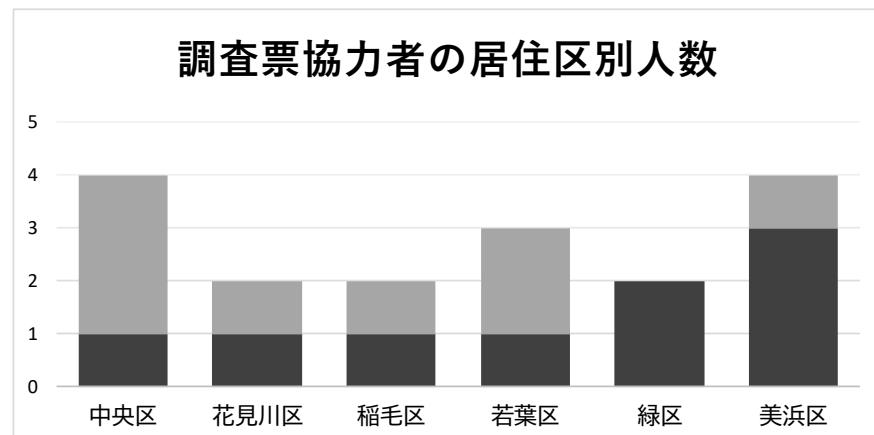
表:調査対象者の居住区

住所	値	調査協力者	返答なし	希望せず	転居者	死亡者	その他	総計
中央区	回答者数	4	2	2	0	0	0	8
	構成比	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
花見川区	回答者数	2	1	3	0	0	0	6
	構成比	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
稲毛区	回答者数	2	3	0	0	0	1	6
	構成比	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	
若葉区	回答者数	3	3	1	0	1	0	8
	構成比	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	
緑区	回答者数	2	1	1	0	0	0	4
	構成比	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
美浜区	回答者数	4	0	0	0	0	0	4
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	回答者数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		17	10	7	0	1	1	36
全体の構成比		47.2%	27.8%	19.4%	0.0%	2.8%	2.8%	100.0%

※その他…調査承諾を受けるも日程調整が困難であったため、実施には至らなかった

2. 調査協力者の居住区

表:調査協力者の居住区



■ 女性	3	1	1	2	0	1
■ 男性	1	1	1	1	2	3

第2章 調査協力者の基本的属性

1. 年齢、性別

※年齢層は20代から90代にわたり、70代以上が6割以上を占める。

※17名のうち、男性9名、女性8名でほぼ同数。

◆年齢階級と性別

表：年齢階級と性別

		男性	女性	総計
20歳代	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
40歳代	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
60歳代	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	3	1	4
	構成比	75.0%	25.0%	
80歳代	回答者数	1	2	3
	構成比	33.3%	66.7%	
90歳代	回答者数	1	3	4
	構成比	25.0%	75.0%	
全体の回答者数		9	8	17
全体の構成比		52.9%	47.1%	100.0%

2. ◆視聴覚障害組み合わせ(等級)

◆視覚障害等級と聴覚障害等級

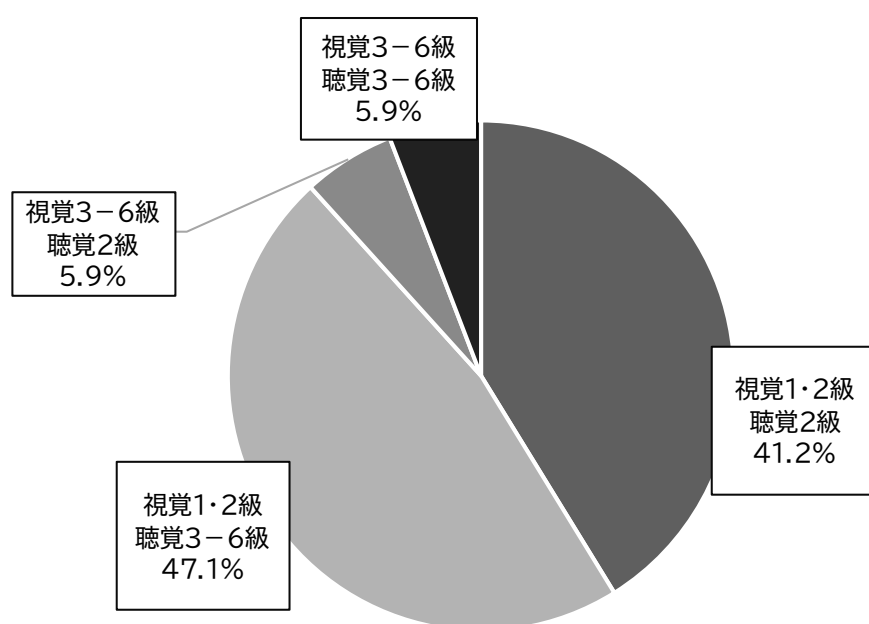
表:視覚障害等級と聴覚障害等級

		聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚6級	総計
視覚1級	回答者数	2	0	1	2	5
	構成比	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	
視覚2級	回答者数	5	0	3	2	10
	構成比	50.0%	0.0%	30.0%	20.0%	
視覚3級	回答者数	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚4級	回答者数	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚5級	回答者数	1	0	1	0	2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
視覚6級	回答者数	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		8	0	5	4	17
全体の構成比		47.1%	0.0%	29.4%	23.5%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)

図表:視聴覚障害組み合わせ(等級)

	人数	構成比
視覚1・2級 聴覚2級	7	41.2%
視覚1・2級 聴覚3－6級	8	47.1%
視覚3－6級 聴覚2級	1	5.9%
視覚3－6級 聴覚3－6級	1	5.9%
合 計	17	100.0%



3. 視聴覚障害組み合わせ(状態・程度)

◆視覚の状態と聴覚の状態

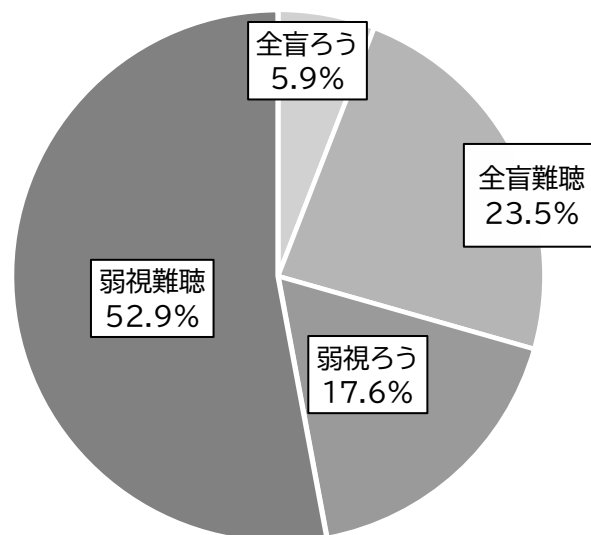
表:視覚の状態と聴覚の状態

	値	話し声を全く聞き取れない	補聴器をつけられ、耳元で話し声なら聞き取れる	少し離れても大きな話し声なら聞き取れる	総計
光も感じない	回答者数	0	0	2	2
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
電灯等の明るい光は見える	回答者数	1	2	0	3
	構成比	33.3%	66.7%	0.0%	
目の前で手を動かせばわかる	回答者数	0	1	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	
目の前に出された指の本数が数えられる	回答者数	0	3	1	4
	構成比	0.0%	75.0%	25.0%	
大きな文字(新聞の見出しなど)を読める	回答者数	0	2	0	2
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	
小さな文字(新聞の記事など)を読める	回答者数	3	1	1	5
	構成比	60.0%	20.0%	20.0%	
全体の回答者数		4	9	4	17
全体の構成比		23.5%	52.9%	23.5%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(状態)

図表:視聴覚障害組み合わせ(状態)(注1)

	人数	構成比
全盲ろう	1	5.9%
全盲難聴	4	23.5%
弱視ろう	3	17.6%
弱視難聴	9	52.9%
合計	17	100.0%



(注1) 視聴覚障害の組み合わせについては、「視力の状態」と「聴覚の状態」を、以下の様に定義をして、組み合わせたものである。

- ・全盲:「光も感じない」～「電灯等の明るい光は見える」
- ・弱視:「目の前で手を動かせば分かる」～「小さな文字を読める」
- ・ろう:「話し声を全く聞き取れない」
- ・難聴:「耳元で大きな話声なら聞き取れる」～「少し離れても普通の大きさの声を聞き取れる」

4. 視聴覚障害の受障経緯

◆視覚障害受障時期と聴覚障害受障時期

表：視覚障害受障時期と聴覚障害受障時期

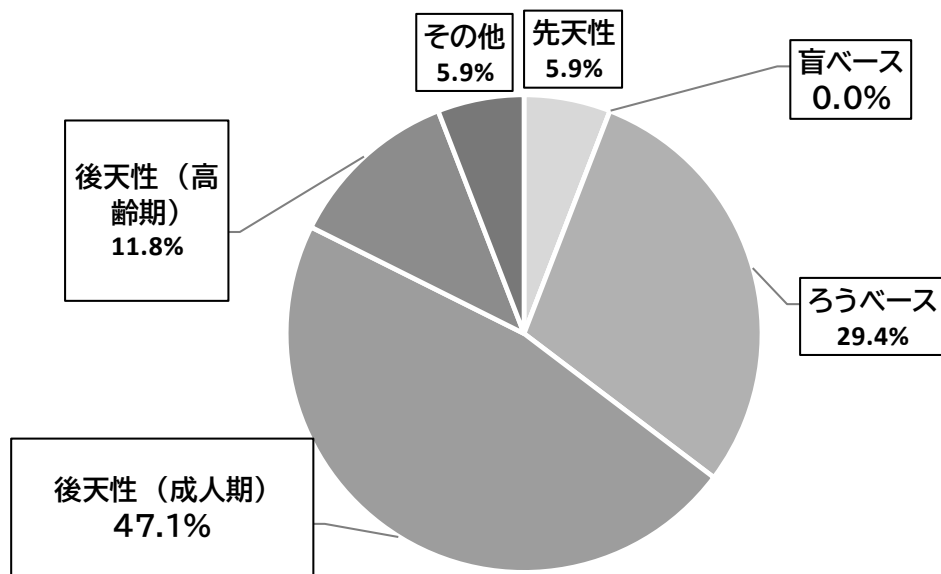
		聴覚障害受障時期									
	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
視覚障害受障時期	10歳未満	回答者数	3	0	1	1	1	0	0	0	6
		構成比	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	10歳代	回答者数	3	0	0	0	0	0	0	0	3
		構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30歳代	回答者数	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	50歳代	回答者数	0	0	0	0	0	2	0	0	2
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	60歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	70歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	80歳代	回答者数	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	90歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	全体の回答者数		7	0	1	2	2	0	3	0	16
	全体の構成比		43.8%	0.0%	6.3%	12.5%	12.5%	0.0%	18.8%	0.0%	100.0%

※調査協力者は17名、そのうち1名は施設入所者で意思疎通ができず、受障時期は不明。

◆視聴覚障害経緯

図表：視聴覚障害経緯(5分類)(注1)

	人数	構成比
先天性	1	5.9%
盲ベース	0	0.0%
ろうベース	5	29.4%
後天性（成人期）	8	47.1%
後天性（高齢期）	2	11.8%
その他	1	5.9%
合計	17	100.0%



(注1)視聴覚障害の受障経緯の組み合わせについては、「視覚障害受障時期」と「聴覚障害受障時期」を以下のように組み合わせ、操作的に定義したものである。

- ・先天性:視覚・聴覚とも4歳未満で受障
- ・盲ベース:視覚4歳未満、聴覚は4歳以後に受障
- ・ろうベース:聴覚は4歳未満、視覚は4歳以後に受障
- ・後天性(成人期):視覚・聴覚とも4歳以後、65歳未満で受障
- ・後天性(高齢期):視覚・聴覚ともに65歳以後に受障

5. 可能および最も円滑な発信コミュニケーション方法

◆可能な発信コミュニケーション方法

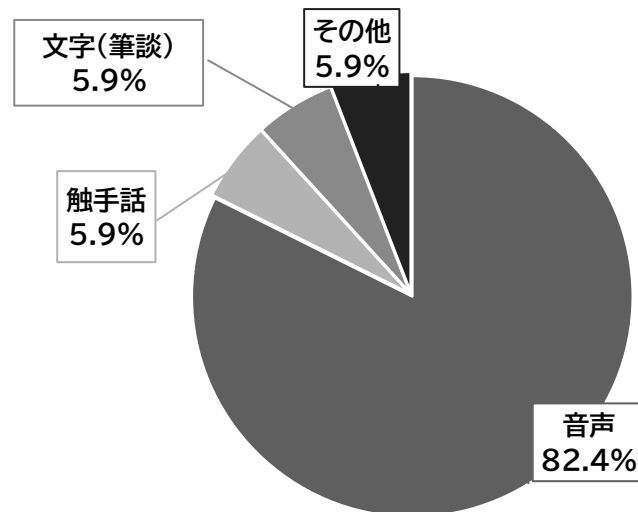
図表:可能な発信コミュニケーション方法

	人数	構成比
音声	14	82.4%
手話	4	23.5%
触手話	3	17.6%
指文字(ローマ字式)	0	0.0%
指文字(日本語式)	3	17.6%
文字(筆談)	5	29.4%
文字(空書き)	0	0.0%
文字(てのひら書き)	2	11.8%
指点字	1	5.9%
その他	3	17.6%
特にない	0	0.0%

◆最も円滑な発信コミュニケーション方法

図表:最も円滑な発信コミュニケーション方法

	人数	構成比
音声	14	82.4%
手話	0	0.0%
触手話	1	5.9%
指文字(ローマ字式)	0	0.0%
指文字(日本語式)	0	0.0%
文字(筆談)	1	5.9%
文字(空書き)	0	0.0%
文字(てのひら書き)	0	0.0%
指点字	0	0.0%
その他	1	5.9%
特にない	0	0.0%
総計	17	100.0%



6. 可能および最も円滑な受信コミュニケーション方法

◆可能な受信コミュニケーション方法

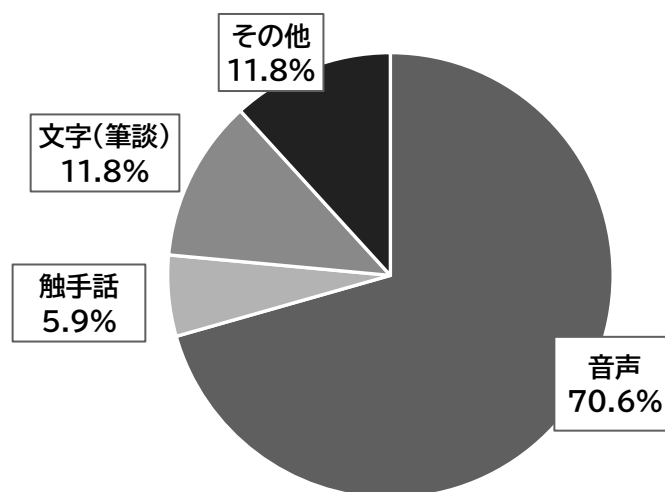
図表：可能な受信コミュニケーション方法

	人数	構成比
音声	13	76.5%
手話	2	11.8%
触手話	2	11.8%
指文字(ローマ字式)	0	0.0%
指文字(日本語式)	1	5.9%
文字(筆談)	5	29.4%
文字(空書き)	0	0.0%
文字(てのひら書き)	4	23.5%
点字筆記	1	5.9%
指点字	1	5.9%
その他	3	17.6%
特にない	0	0.0%

◆最も円滑な受信コミュニケーション方法

図表:最も円滑な受信コミュニケーション方法

	人数	構成比
音声	12	70.6%
手話	0	0.0%
触手話	1	5.9%
指文字(ローマ字式)	0	0.0%
指文字(日本語式)	0	0.0%
文字(筆談)	2	11.8%
文字(空書き)	0	0.0%
文字(てのひら書き)	0	0.0%
点字筆記	0	0.0%
指点字	0	0.0%
その他	2	11.8%
特にない	0	0.0%
総計	17	100.0%



第3章 調査項目

1. 本人の属性

(1)基本項目

問1 氏名

問2 年齢 P16参照

問3 性別 P16参照

(2)住まい

問4 住まい

◆年齢階級と住まい

表:年齢階級と住まい

年齢階級	値	持家 (一戸建て)	持家 (マンション、 アパート等)	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (マンション、 アパート等)	公営住宅	社宅・職員寮 ・寄宿舎等	グループホーム	入所型施設	その他	総計
20歳代	回答者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4
	構成比	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	構成比	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	2	0	0	0	0	0	0	1	1	4
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	
全体の回答者数		8	5	0	1	1	0	0	1	1	17
全体の構成比		47.1%	29.4%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と住まい

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と住まい

視聴覚障害 組み合わせ	値	持家 (一戸建て)	持家 (マンション、 アパート等)	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (マンション、 アパート等)	公営住宅	社宅・職員寮 ・寄宿舍等	グループホーム	入所型施設	その他	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	3	3	0	1	0	0	0	0	0	7
	構成比	42.9%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3～6級	回答者数	3	2	0	0	1	0	0	1	1	8
	構成比	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	
視覚3～6級 聴覚2級	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3～6級 聴覚3～6級	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		8	5	0	1	1	0	0	1	1	17
全体の構成比		47.1%	29.4%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と住まい

表:視聴覚障害経緯(5分類)と住まい

視聴覚障害の 組み合わせ	値	持家 (一戸建て)	持家 (マンション、 アパート等)	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (マンション、 アパート等)	公営住宅	社宅・職員寮 ・寄宿舎等	グループホーム	入所型施設	その他	総 計
先天性	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	2	2	0	1	0	0	0	0	0	5
	構成比	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性 (成人期)	回答者数	3	3	0	0	1	0	0	0	1	8
	構成比	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	
後天性 (高齢期)	回答者数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
不明	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		8	5	0	1	1	0	0	1	1	17
全体の構成比		47.1%	29.4%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	100.0%

(3)障害の状況

問5 視覚障害の発障年齢

※先天性も含め10歳未満から10歳代の発症が47.0%と多いが、50歳代から80歳代までの発症も23.5%である。

◆年齢階級と視覚障害の発障年齢

表：年齢階級と視覚障害の発障年齢

年齢階級	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	不明	総計
20歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4
	構成比	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	4
	構成比	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
全体の回答者数		5	3	2	1	1	2	1	1	0	0	1	17
全体の構成比		29.4%	17.6%	11.8%	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と視覚障害の発障年齢

表:視聴覚障害の組み合わせ(等級)と視覚障害の発障年齢

視聴覚障害 組み合わせ	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	不明	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	構成比	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3～6級	回答者数	2	0	1	0	1	2	0	1	0	0	1	8
	構成比	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	
視覚3～6級 聴覚2級	回答者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3～6級 聴覚3～6級	回答者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		5	3	2	1	1	2	1	1	0	0	1	17
全体の構成比		29.4%	17.6%	11.8%	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と視覚障害の発障年齢

表:視聴覚障害経緯(5分類)と視覚障害の発障年齢

視聴覚障害 組み合わせの 経緯	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	不明	総計
先天性	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	構成比	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性 (成人期)	回答者数	2	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0	8
	構成比	25.0%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性 (高齢期)	回答者数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
不明	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		5	3	2	1	1	2	1	1	0	0	1	17
全体の構成比		29.4%	17.6%	11.8%	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	100.0%

問6 視覚障害の進行

※進行している方が88.2%で、その内60歳代から90歳代では66.7%である。

◆年齢階級と視覚障害の進行

表:年齢階級と視覚障害の進行

年齢階級	値	かなり進行している	やや進行している	進行していない	不明	総計
20歳代	回答者数	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	2	0	0	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	3	1	0	0	4
	構成比	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	2	0	1	0	3
	構成比	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	
90歳代	回答者数	3	0	0	1	4
	構成比	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
全体の回答者数		12	3	1	1	17
全体の構成比		70.6%	17.6%	5.9%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と視覚障害の進行

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と視覚障害の進行

視聴覚障害 組み合わせ組	値	しか てな い る 進 行	てや いや る 進 行 し	い進 ない 行 して	不 明	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	5	2	0	0	7
	構成比	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	5	1	1	1	8
	構成比	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		12	3	1	1	17
全体の構成比		70.6%	17.6%	5.9%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と視覚障害の進行

表:視聴覚障害経緯(5分類)と視覚障害の進行

視聴覚障害 受容経緯の 組み合わせ	値	しか てな い る 進 行	しや てや い 進 行	い進 ない 行 して	不 明	総 計
先天性	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	4	1	0	0	5
	構成比	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	5	2	1	0	8
	構成比	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	2	0	0	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
不明	回答者数	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		12	3	1	1	17
全体の構成比		70.6%	17.6%	5.9%	5.9%	100.0%

問7 視力の状態

※41.2%は文字からの情報取得が可能である。

◆年齢階級と視力の状態

表:年齢階級と視力の状態

年齢階級	値	光も感じない	電灯等の明るい光は見える	目の前で手を動かせば分かる	目の前に出されたる指の本数が数えられる	大きな文字（新聞の見出しなど）を読める	小さな文字（新聞の記事など）を読める	総計
20歳代	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
30歳代	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
40歳代	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数	0	1	0	1	0	0	2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1	1	0	1	1	0	4
	構成比	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	1	0	0	0	1	1	3
	構成比	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	
90歳代	回答者数	0	0	1	2	0	1	4
	構成比	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	
全体の回答者数		2	3	1	4	2	5	17
全体の構成比		11.8%	17.6%	5.9%	23.5%	11.8%	29.4%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と視力の状態

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と視力の状態

視聴覚障害組み合わせ	値	光も感じない	電灯等の明るい光は見える	目の前で手を動かせば分かる	目の前に出されれば指の本数が数えられる	大きな文字(新聞)を見出しなどを読める	小さな文字(新聞記事など)を読める	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	0	3	0	0	1	3	7
	構成比	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	
視覚1・2級 聴覚3-6級	回答者数	2	0	1	3	1	1	8
	構成比	25.0%	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	12.5%	
視覚3-6級 聴覚2級	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	0	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		2	3	1	4	2	5	17
全体の構成比		11.8%	17.6%	5.9%	23.5%	11.8%	29.4%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と視力の状態

表:視聴覚障害経緯(5分類)と視力の状態

視聴覚障害の 組み合わせ	値	光も 感じない	電灯等の 明るい光は 見える	目の前で 手を動か せば 分かる	目の前に 出され た指の 本数が 数えら れる	大きな 文字(新 聞など) を見出し 読む	小さな 文字(新 聞など) を読み 取る	総計
先天性	回答者数	0	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	0	2	0	0	0	3	5
	構成比	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	
後天性 (成人期)	回答者数	2	1	0	2	2	1	8
	構成比	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	
後天性 (高齢期)	回答者数	0	0	0	1	0	1	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	
不明	回答者数	0	0	1	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		2	3	1	4	2	5	17
全体の構成比		11.8%	17.6%	5.9%	23.5%	11.8%	29.4%	100.0%

問7ー1 視野の状態

	件数	構成比
視野に障害はない	3	17.6%
中心が見えにくい	1	5.9%
周辺が見えにくい	6	35.3%
その他	7	41.2%
総計	17	100.0%

※その他の回答

- ・右は周辺が見える
- ・片目失明、片目一点のみ見える
- ・現在はすでに視力なし
- ・中心は見える
- ・視野30度

問8 視覚障害等級

※1級と2級が全体の88.2%にあたる

◆年齢階級と視覚障害等級

表:年齢階級と視覚障害等級

年齢階級	値	視覚 1 級	視覚 2 級	視覚 3 級	視覚 4 級	視覚 5 級	視覚 6 級	総 計
20歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	0	2	0	0	0	0	2
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	2	2	0	0	0	0	4
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	2	1	0	0	0	0	3
	構成比	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	1	1	0	0	2	0	4
	構成比	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
全体の回答者数		5	10	0	0	2	0	17
全体の構成比		29.4%	58.8%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と視覚障害等級

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と視覚障害等級

視聴覚障害 組み合わせ	値	視覚 1級	視覚 2級	視覚 3級	視覚 4級	視覚 5級	視覚 6級	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	2	5	0	0	0	0	7
	構成比	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	3	5	0	0	0	0	8
	構成比	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		5	10	0	0	2	0	17
全体の構成比		29.4%	58.8%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と視覚障害等級

表:視聴覚障害経緯(5分類)と視覚障害等級

視聴覚障害 経緯の 組み合わせ	値	視覚 1級	視覚 2級	視覚 3級	視覚 4級	視覚 5級	視覚 6級	総計
先天性	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	0	4	0	0	1	0	5
	構成比	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	4	4	0	0	0	0	8
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	1	0	0	1	0	2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
不明	回答者数	1	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		5	10	0	0	2	0	17
全体の構成比		29.4%	58.8%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	100.0%

問9 聴覚障害の発障年齢

◆年齢階級と聴覚障害の発障年齢

表:年齢階級と聴覚障害の発障年齢

年齢階級	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	不明	総計
20歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	4
	構成比	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	
全体の回答者数		8	0	0	2	1	0	3	0	2	0	1	17
全体の構成比		47.1%	0.0%	0.0%	11.8%	5.9%	0.0%	17.6%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と聴覚障害の発障年齢

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と聴覚障害の発障年齢

視聴覚障害 組み合わせ	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	不明	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	構成比	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3～6級	回答者数	1	0	0	1	1	0	3	0	1	0	1	8
	構成比	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	
視覚3～6級 聴覚2級	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3～6級 聴覚3～6級	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		8	0	0	2	1	0	3	0	2	0	1	17
全体の構成比		47.1%	0.0%	0.0%	11.8%	5.9%	0.0%	17.6%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と聴覚障害の発障年齢

表:視聴覚障害経緯(5分類)と聴覚障害の発障年齢

視聴覚障害 経緯の 組み合わせ	値	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	不明	総計
先天性	回答者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	3	0	0	1	1	0	2	0	1	0	0	8
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
不明	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		8	0	0	2	1	0	3	0	2	0	1	17
全体の構成比		47.1%	0.0%	0.0%	11.8%	5.9%	0.0%	17.6%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	100.0%

問10 聴覚障害の進行

※進行している方が70.6%で、その内60歳代から90歳代では83.3%である。

◆年齢階級と聴覚障害の進行

表:年齢階級と聴覚障害の進行

年齢階級	値	かなり進行している	やや進行している	進行していない	不明	総計
20歳代	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	0	1	0	2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	0	3	1	0	4
	構成比	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	2	1	0	0	3
	構成比	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	2	1	0	1	4
	構成比	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	
全体の回答者数		6	6	4	1	17
全体の構成比		35.3%	35.3%	23.5%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と聴覚障害の進行

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と聴覚障害の進行

組視 み聴 合覚 わ障 せ害	値	しか てな いり る進 行	しや てや い進 る行	い進 ない して	不 明	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	1	3	3	0	7
	構成比	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	4	2	1	1	8
	構成比	50.0%	25.0%	12.5%	12.5%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		6	6	4	1	17
全体の構成比		35.3%	35.3%	23.5%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と聴覚障害の進行

表:視聴覚障害経緯(5分類)と聴覚障害の進行

組受視 み障聴 合障 わ経 せの 害の	値	しか てな いり る進 行	しや てや い進 る行	い進 ない して	不 明	総 計
先天性	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	1	3	0	5
	構成比	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	2	5	1	0	8
	構成比	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	2	0	0	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
不明	回答者数	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		6	6	4	1	17
全体の構成比		35.3%	35.3%	23.5%	5.9%	100.0%

問11 聴力の状態

※声の大きさや距離にもよるが76.4%の人が聞き取れている。

◆年齢階級と聴力の状態

表:年齢階級と聴力の状態

年齢階級	値	聞き取れない 話し声をまったく	補聴器をつけなければ 話し声を聞き取れない 元で	少し離れても聞き取れる 話し声なら聞き取れる	総計
20歳代	回答者数	1	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	1	0	2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	0	3	1	4
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	0	2	1	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	1	2	1	4
	構成比	25.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		4	9	4	17
全体の構成比		23.5%	52.9%	23.5%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と聴力の状態

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と聴力の状態

視聴覚障害組み合わせ	値	話し声をまったく聞き取れない	補聴器をつければ耳元で話し声なら聞き取れる	少し離れても大きな話し声なら聞き取れる	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	3	3	1	7
	構成比	42.9%	42.9%	14.3%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	0	6	2	8
	構成比	0.0%	75.0%	25.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	1	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		4	9	4	17
全体の構成比		23.5%	52.9%	23.5%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と聴力の状態

表:視聴覚障害経緯(5分類)と聴力の状態

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	話し声をまったく聞き取れない	補聴器をつければ耳元で話し声なら聞き取れる	少し離れても大きな話し声なら聞き取れる	総計
先天性	回答者数	0	1	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	4	1	0	5
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	0	5	3	8
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	1	1	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
不明	回答者数	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		4	9	4	17
全体の構成比		23.5%	52.9%	23.5%	100.0%

問12 聴覚障害等級

※聴覚障害の2級が47.1%、そのうち約半数が60歳代から90歳代。

◆年齢階級と聴覚障害等級

表：年齢階級と聴覚障害等級

年齢階層	値	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚6級	総計
20歳代	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	0	0	1	2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	2	0	1	1	4
	構成比	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	
80歳代	回答者数	0	0	1	2	3
	構成比	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	
90歳代	回答者数	1	0	3	0	4
	構成比	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	
全体の回答者数		8	0	5	4	17
全体の構成比		47.1%	0.0%	29.4%	23.5%	100.0%

◆視聴覚組み合わせ(等級)と聴覚障害等級

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と聴覚障害等級

視聴覚障害組み合わせ	値	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚6級	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	7	0	0	0	7
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	4	4	8
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		8	0	5	4	17
全体の構成比		47.1%	0.0%	29.4%	23.5%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と聴覚障害等級

表:視聴覚障害経緯(5分類)と聴覚障害等級

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚6級	総計
先天性	回答者数	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	5	0	0	0	5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	3	0	2	3	8
	構成比	37.5%	0.0%	25.0%	37.5%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	0	2	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
その他	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		8	0	5	4	17
全体の構成比		47.1%	0.0%	29.4%	23.5%	100.0%

※その他…本人との意思疎通ができず不明。

問13 視覚・聴覚以外の障害の有無

◆年齢階級と視覚・聴覚以外の障害の有無

表：年齢階級と視覚・聴覚以外の障害の有無

年齢階級	値	ある	ない	総計
20歳代	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
40歳代	回答者数	0	1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数	2	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
70歳代	回答者数	1	3	4
	構成比	25.0%	75.0%	
80歳代	回答者数	0	3	3
	構成比	0.0%	100.0%	
90歳代	回答者数	0	4	4
	構成比	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		4	13	17
全体の構成比		23.5%	76.5%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と視覚・聴覚以外の障害の有無

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と視覚・聴覚以外の障害の有無

組 み 聴 覚 障 害 の	値	ある	ない	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	3	4	7
	構成比	42.9%	57.1%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	1	7	8
	構成比	12.5%	87.5%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		4	13	17
全体の構成比		23.5%	76.5%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と視覚・聴覚以外の障害の有無

表:視聴覚障害経緯(5分類)と視覚・聴覚以外の障害の有無

組 み 聴 覚 障 害 の 経 緯 の	値	ある	ない	総 計
先天性	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	2	3	5
	構成比	40.0%	60.0%	
後天性(成人期)	回答者数	1	7	8
	構成比	12.5%	87.5%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	2	2
	構成比	0.0%	100.0%	
その他	回答者数	0	1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		4	13	17
全体の構成比		23.5%	76.5%	100.0%

問13-1 視覚・聴覚以外の障害の種類と等級

表:視覚・聴覚以外の障害の種類と等級

その他の障害	構成比	人数	等級
音声・言語・そしゃく機能障害	50.0%	2	3級・2名
平衡機能障害	0.0%	0	
肢体不自由(上肢・下肢等)	50.0%	2	3級・1名、4級・1名
内部障害	0.0%	0	
精神障害	0.0%	0	
知的障害	0.0%	0	

※障害者手帳の対象にはならないが、歩行困難者もいる。

問14 障害者手帳の総合等級

※1級と2級を合わせて全体の94.1%である。

◆年齢階級と障害者手帳の総合等級

表:年齢階級と障害者手帳の総合等級

年齢階級	値	1級	2級	3級	4級	5級	総計
20歳代	回答者数	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	1	0	0	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	2	2	0	0	0	4
	構成比	0.0%	0.0%	52.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	2	1	0	0	0	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	1	2	1	0	0	4
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		10	6	1	0	0	17
全体の構成比		58.8%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と障害者手帳の総合等級

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と障害者手帳の総合等級

視聴覚障害組み合わせ	値	1級	2級	3級	4級	5級	総計
視覚1・2 聴覚2級	回答者数	7	0	0	0	0	7
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	3	5	0	0	0	8
	構成比	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	1	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		10	6	1	0	0	17
全体の構成比		58.8%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と障害者手帳の総合等級

表:視聴覚障害経緯(5分類)と障害者手帳の総合等級

視聴覚障害の受障経緯 の組み合わせ	値	1級	2級	3級	4級	5級	総計
先天性	回答者数	0	1	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	4	1	0	0	0	5
	構成比	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	5	3	0	0	0	8
	構成比	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	1	1	0	0	2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
不明	回答者数	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		10	6	1	0	0	17
全体の構成比		58.8%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%

問15 障害支援区分認定

※76.5%の方が認定申請をしていない。

◆年齢階級と障害支援区分認定

表:年齢階級と障害支援区分認定

年齢階級	値	認定を受けている	申請したが非該当だった	申請をしていない	その他	総計
20歳代	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	0	1	0	2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1	0	3	0	4
	構成比	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	1	0	2	0	3
	構成比	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	
90歳代	回答者数	0	0	4	0	4
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		4	0	13	0	17
全体の構成比		23.5%	0.0%	76.5%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と障害支援区分認定

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と障害支援区分認定

視聴覚障害 組み合わせ	値	受 認 定 を い る	非 申 請 し た が た	し 申 請 を い ない	そ の 他	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	3	0	4	0	7
	構成比	42.9%	0.0%	57.1%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	1	0	7	0	8
	構成比	12.5%	0.0%	87.5%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		4	0	13	0	17
全体の構成比		23.5%	0.0%	76.5%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と障害支援区分認定

表:視聴覚障害経緯(5分類)と障害支援区分認定

視聴覚障害 経緯の 組み合わせ	値	受 認 定 を い る	非 申 請 し た が た	し 申 請 を い ない	そ の 他	総 計
先天性	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	2	0	3	0	5
	構成比	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	2	0	6	0	8
	構成比	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	0	2	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
不明	回答者数	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		4	0	13	0	17
全体の構成比		23.5%	0.0%	76.5%	0.0%	100.0%

問15－1 障害支援区分

	件数	構成比
2級	2	50.0%
3級	1	25.0%
4級	1	25.0%
総計	4	100.0%

(4) 職業等

問16 就業

	件数	構成比
就業している	3	17.6%
施設に通所している	1	5.9%
通学している	0	0.0%
いずれもしていない	13	76.5%
総計	17	100.0%

問16-1-(1) 就業の形態

	件数	構成比
正職員	1	33.3%
正職員以外(契約・委託職員、パート、アルバイト)	2	66.7%
派遣社員	0	0.0%
自営業	0	0.0%
総計	3	100.0%

問16-1-(2) 就労時間(週)

	件数	構成比
40時間	1	33.3%
30時間	1	33.3%
その他	1	33.3%
総計	3	100.0%

※その他…自宅にて必要に応じた随時対応

問16-1-(3) 就労先での勤務内容

	件数	構成比
データ入力	1	33.3%
取締役(相談役)	1	33.3%
農園で野菜作り	1	33.3%
総計	3	100.0%

問16-1-(4) 勤続年数

	件数	構成比
6年	1	33.3%
8年	1	33.3%
30年	1	33.3%
総計	3	100.0%

問16-2 通学してる学校の種類

	件数	構成比
	なし	
総計	0	0.0%

問17 通勤(通学) 介助の要不要

	件数	構成比
介助を受けずに一人で通勤(通学)できる	1	33.3%
その他	2	66.7%
総計	3	100.0%

※その他…在宅

問18 通勤(通学)の方法

	件数	構成比
公共交通機関(電車)	1	33.3%
その他	2	66.7%
総計	3	100.0%

※その他…在宅

2. コミュニケーション方法

問19 可能な発信コミュニケーション方法

【複数回答】

◆年齢階級と可能な発信コミュニケーション方法

表:年齢階級と可能な発信コミュニケーション方法

年齢階級	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本語)	文字(筆談)	文字(空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特にない	総計
20歳代	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
30歳代	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	6
40歳代	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	5
50歳代	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	6
60歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
70歳代	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
80歳代	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
90歳代	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
総計	14	4	3	0	0	3	7	0	0	0	1	3	0	35

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と可能な発信コミュニケーション方法

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と可能な発信コミュニケーション方法

組視 み聴 合覚 わ障 せ害	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本語)	文字(筆談)	文字(空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特にない	総計
視覚1・2級 聴覚2級	4	4	3	0	0	3	5	0	0	0	1	3	0	23
視覚1・2級 聴覚3-6級	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9
視覚3-6級 聴覚2級	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
視覚3-6級 聴覚3-6級	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総計	14	4	3	0	0	3	7	0	0	0	1	3	0	35

◆視覚障害経緯(5分類)と可能な発信コミュニケーション方法

表:視聴覚障害経緯(5分類)と可能な発信コミュニケーション方法

視聴覚障害の 受障害経緯の 組み合わせ	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本語)	文字(筆談)	文字(空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特 に な い	総 計
先天性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
盲ベース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ろうベース	2	3	2	0	0	2	4	0	0	0	1	2	0	16
後天性(成人期)	8	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	14
後天性(高齢期)	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総計	14	4	3	0	0	3	7	0	0	0	1	3	0	35

※その他の回答

筆談

タブレットのチャットアプリ

キュードスピーチ(注1)

音声文字変換アプリ

(注1)話し言葉を視覚化するツール

顔面近くの4カ所で8種類の手の形を使い、口の動きが持つ情報を補うもの。

問20 最も円滑な発信コミュニケーション方法

※82.4%の方が「音声」と回答している。

◆年齢階級と最も円滑な発信コミュニケーション方法

表：年齢階級と最も円滑な発信コミュニケーション方法

年齢階級	値	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本文)	文字 (筆談)	文字 (空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特 に ない	総 計
20歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		14	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	17
全体の構成比		82.4%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と最も円滑な発信コミュニケーション方法

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と最も円滑な発信コミュニケーション方法

視聴覚障害 組み合わせ	値	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本語)	文字(筆談)	文字(空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特 に ない	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	7
	構成比	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3～6級	回答者数	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3～6級 聴覚2級	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3～6級 聴覚3～6級	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		14	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	17
全体の構成比		82.4%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と最も円滑な発信コミュニケーション方法

表:視聴覚障害経緯(5分類)と最も円滑な発信コミュニケーション方法

視聴覚障害 組み合わせの 経緯	値	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本語)	文字(筆談)	文字(空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特 に ない	総 計
先天性	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	5
	構成比	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		14	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	17
全体の構成比		82.4%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	100.0%

※その他の回答
キュード

問21 手話や指点字、点字などを知らない健常者に対する発信能力(独力での発信能力)

※約80%の方は自分の言いたいことを伝えられる。

◆年齢階級と独力での発信能力

表:年齢階級と独力での発信能力

年齢階級	値	まったく伝えられない	あまり伝えられない	どちらともいえない	かなり伝えられる	すべて伝えられる	総計
20歳代	回答者数	0	1	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
40歳代	回答者数	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数	0	0	1	1	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
70歳代	回答者数	0	0	0	1	3	4
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	
80歳代	回答者数	0	0	0	0	3	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
90歳代	回答者数	1	0	0	1	2	4
	構成比	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	
全体の回答者数		1	1	1	3	11	17
全体の構成比		5.9%	5.9%	5.9%	17.6%	64.7%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と独力での発信能力

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と独力での発信能力

視聴覚障害 組み合わせ	値	まったく 伝わらない	あまり 伝わらない	どちらとも いえない	かなり 伝えられる	すべて 伝えられる	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	0	1	1	1	4	7
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	1	0	0	1	6	8
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		1	1	1	3	11	17
全体の構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

◆視聴覚障害経緯(5分類)と独力での発信能力

表:視聴覚障害経緯(5分類)と独力での発信能力

視聴覚障害 経緯の 組み合わせ	値	まったく 伝わらない	あまり 伝わらない	どちらとも いえない	かなり 伝えられる	すべて 伝えられる	総計
先天性	回答者数	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	0	1	1	0	3	5
	構成比	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	60.0%	
後天性(成人期)	回答者数	0	0	0	1	7	8
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	0	0	1	1	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
その他	回答者数	1	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		1	1	1	3	11	17
全体の構成比		5.9%	5.9%	5.9%	17.6%	64.7%	100.0%

問22 可能な受信コミュニケーション方法
【複数回答】

◆年齢階級と可能な受信コミュニケーション方法

表:年齢階級と可能な受信コミュニケーション方法

年齢階級	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本語)	文字(筆談)	文字(空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特にない	総計
20歳代	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
30歳代	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	5
40歳代	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4
50歳代	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	5
60歳代	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
70歳代	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
80歳代	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
90歳代	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
総計	13	2	2	1	0	1	8	0	0	1	1	3	0	32

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と可能な受信コミュニケーション方法

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と可能な受信コミュニケーション方法

視聴覚障害 組み合わせ	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本語)	文字 (筆談)	文字 (空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特 に ない	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	4	2	2	1	0	1	6	0	0	1	1	3	0	21
視覚1・2級 聴覚3-6級	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9
視覚3-6級 聴覚2級	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
視覚3-6級 聴覚3-6級	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総計	13	2	2	1	0	1	8	0	0	1	1	3	0	32

◆視聴覚障害経緯(5分類)と可能な受信コミュニケーション方法

表:視聴覚障害経緯(5分類)と可能な受信コミュニケーション方法

視聴覚障害の 経緯の 組み合わせ	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本語)	文字 (筆談)	文字 (空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特 に ない	総 計
先天性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
盲ベース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ろうベース	1	1	2	1	0	0	5	1	1	1	1	2	0	16
後天性(成人期)	8	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	13
後天性(高齢期)	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総計	13	2	2	1	0	1	8	1	1	1	1	3	0	34

※その他の回答

筆談

タブレット

キュードスピーチ

音声変換アプリ

問23 最も円滑な受信コミュニケーション方法

◆年齢階級と最も円滑な受信コミュニケーション方法

表：年齢階級と最も円滑な受信コミュニケーション方法

年齢階級	値	音声	手話	触手話	弱視手話	指文字 (ローマ字)	指文字 (日本語)	文字 (筆談)	文字 (空書)	文字 (手のひら書き)	点字筆記	指点字	その他	特 に ない	総 計
20歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	構成比	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		12	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	17
全体の構成比		70.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と最も円滑な受信コミュニケーション方法

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と最も円滑な受信コミュニケーション方法

組 視 み 聴 合 覚 わ 障 せ 害	値	音 声	手 話	触 手 話	弱 視 手 話	指 文 字 (ロー マ 字)	指 文 字 (日 本 語)	文 字 (筆 談)	文 字 (空 書)	文 字 (手 の ひ ら 書 き)	点 字 筆 記	指 点 字	そ 他	特 に な い	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	7
	構成比	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3-6級	回答者数	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚2級	回答者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		12	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	17
全体の構成比		70.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と最も円滑な受信コミュニケーション方法

表:視聴覚障害経緯(5分類)と最も円滑な受信コミュニケーション方法

組 視 み 聴 合 障 わ 害 の 経 緯 の	値	音 声	手 話	触 手 話	弱 視 手 話	指 文 字 (ロー マ 字)	指 文 字 (日 本 語)	文 字 (筆 談)	文 字 (空 書)	文 字 (手 の ひ ら 書 き)	点 字 筆 記	指 点 字	そ 他	特 に な い	総 計
先天性	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	5
	構成比	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8
	構成比	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		12	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	17
全体の構成比		70.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	100.0%

問24 手話や指点字、点字などを知らない健常者に対する受信能力(独力での受信能力)

※64.7%は理解できるが、11.8%は独力での理解はできない。

◆年齢階級と独力での受信能力

表:年齢階級と独力での受信能力

年齢階級	値	まったく理解できない	あまり理解できない	どちらともいえない	かなり理解できる	すべて理解できる	総計
20歳代	回答者数	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数	0	0	1	1	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	0	0	0	1	3	4
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	
80歳代	回答者数	0	1	0	0	2	3
	構成比	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	
90歳代	回答者数	1	0	2	0	1	4
	構成比	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	
全体の回答者数		1	1	4	4	7	17
全体の構成比		5.9%	5.9%	23.5%	23.5%	41.2%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と独力での受信能力

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と独力での受信能力

組 視 み 聴 合 覚 わ 障 せ 害	値	解 ま で つ き た く い 理	で あ ま り な い 理 解	い ど え ち な ら い と も	で か き る な り 理 解	で す べ て 理 解	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	0	0	1	4	2	7
	構成比	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	1	1	1	0	5	8
	構成比	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	62.5%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		1	1	4	4	7	17
全体の構成比		5.9%	5.9%	23.5%	23.5%	41.2%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と独力での受信能力

表:視聴覚障害経緯(5分類)と独力での受信能力

組 視 み 聴 合 覚 わ 障 せ の 経 緯 の	値	で ま き た く い 理 解	で あ ま り な い 理 解	い ど え ち な ら い と も	で か き る な り 理 解	で す べ て 理 解	総 計
先天性	回答者数	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	0	0	1	3	1	5
	構成比	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	
後天性(成人期)	回答者数	0	0	1	1	6	8
	構成比	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	75.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	1	1	0	0	2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
その他	回答者数	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		1	1	4	4	7	17
全体の構成比		5.9%	5.9%	23.5%	23.5%	41.2%	100.0%

問25 遠隔地への連絡コミュニケーション方法

【複数回答】

◆年齢階級と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

表：年齢階級と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

年齢階級	電話	FAX	電子メール	特 に ない
20歳代	0	0	1	0
30歳代	0	0	1	0
40歳代	0	0	1	0
50歳代	0	0	2	0
60歳代	1	0	1	0
70歳代	3	0	1	1
80歳代	3	1	1	0
90歳代	2	0	1	1
総計	9	1	9	2

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と遠隔地へのコミュニケーション方法

表: 視聴覚障害組み合わせ(等級)と遠隔地へのコミュニケーション方法

組 み 合 わ せ 視 聴 覚 障 害	電 話	F A X	電 子 メ ー ル	特 に ない
視覚1・2級 聴覚2級	3	0	6	0
視覚1・2級 聴覚3－6級	5	1	2	2
視覚3－6級 聴覚2級	0	0	1	0
視覚3－6級 聴覚3－6級	1	0	0	0
総計	9	1	9	2

◆視聴覚障害経緯(5分類)と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

表: 視聴覚障害経緯(5分類)と遠隔地への連絡コミュニケーション方法

組 み 合 わ せ の 視 聴 覚 障 害 の 経 緯	電 話	F A X	電 子 メ ー ル	特 に ない
先天性	0	0	1	0
盲ベース	0	0	0	0
ろうベース	1	0	5	0
後天性(成人期)	6	0	2	1
後天性(高齢期)	2	1	1	0
その他	0	0	0	1
総計	9	1	9	2

問26 会話頻度

◆年齢階級と会話頻度

表:年齢階級と会話頻度

年齢階級	値	毎日	1週間 5週間に 6日程度	1週間 3週間に 4日程度	1週間 1週間に 2日程度	2週間 1週間に 2日程度	1ヶ月 1週間に 2日程度	ほとんど 話していない	まったく 話していない	総計
20歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	3	0	1	0	0	0	0	0	4
	構成比	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	1	1	0	1	0	0	0	0	3
	構成比	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	1	0	1	0	0	1	1	0	4
	構成比	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	
全体の回答者数		10	1	3	1	0	1	1	0	17
全体の構成比		58.8%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)会話頻度

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と会話頻度

組視 み聴 合覚 わ障 せ害	値	毎日	1 週 間 に 5 日 程度	1 週 間 に 3 日 程度	1 週 間 に 1 日 程度	2 週 間 に 1 日 程度	1 ヶ月 に 1 日 程度	会 話 し て い ない	ま っ た く い ない	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	5	0	2	0	0	0	0	0	7
	構成比	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3-6級	回答者数	5	1	0	1	0	0	1	0	8
	構成比	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚2級	回答者数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		10	1	3	1	0	1	1	0	17
全体の構成比		58.8%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と会話頻度

表:視聴覚障害経緯(5分類)と会話頻度

組受 み聴 合覚 わ障 せ害 の 経 緯	値	毎日	1 週 間 に 5 日 程度	1 週 間 に 3 日 程度	1 週 間 に 1 日 程度	2 週 間 に 1 日 程度	1 ヶ月 に 1 日 程度	会 話 し て い ない	ま っ た く い ない	総 計
先天性	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	4	0	0	0	0	1	0	0	5
	構成比	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	5	0	2	1	0	0	0	0	8
	構成比	62.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	回答者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		10	1	3	1	0	1	1	0	17
全体の構成比		58.8%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	100.0%

問27 相手別会話頻度

	値	よく会話する	会ときどき話するとき	会まったく話しない	総計
家族	回答者数	9	6	2	17
	構成比	52.9%	35.3%	11.8%	
友人(盲ろう者)	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
友人(盲ろう者以外)	回答者数	0	6	11	17
	構成比	0.0%	35.3%	64.7%	
友人(盲ろう者以外) 以外の障害者の集まりの仲間	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
近隣住民 (隣人・店員など)	回答者数	2	5	10	17
	構成比	11.8%	29.4%	58.8%	
ボランティア	回答者数	0	2	15	17
	構成比	0.0%	11.8%	88.2%	
職場の同僚・上司	回答者数	2	9	6	17
	構成比	11.8%	52.9%	35.3%	
ガイドヘルパー (同行援護従事者)	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	
ホームヘルパー	回答者数	2	1	14	17
	構成比	11.8%	5.9%	82.4%	
手話通訳者・要約筆記者	回答者数	2	2	13	17
	構成比	11.8%	11.8%	76.5%	
盲ろう者通訳・介助員	回答者数	1	5	11	17
	構成比	5.9%	29.4%	64.7%	
通所・入所施設 (相談支援事業所)の職員	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
障害者団体関係者	回答者数	2	3	12	17
	構成比	11.8%	17.6%	70.6%	
医療関係者	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	
教育機関関係者	回答者数	0	3	14	17
	構成比	0.0%	17.6%	82.4%	
民生委員・児童委員	回答者数	0	2	15	17
	構成比	0.0%	11.8%	88.2%	
その他	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	

3. 生活の状況

(1) 外出

問28 他者や盲導犬などの支援を受けずに、一人で移動する能力(単独移動能力)

◆年齢階級と単独移動能力

表: 年齢階級と単独移動能力

年齢階級	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に関を	バスや電車の交通機関に知らない所に関を	総計
20歳代	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
30歳代	回答者数	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	0	1	1	0	0	0	2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1	0	0	2	1	0	4
	構成比	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	0	2	0	0	1	0	3
	構成比	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
90歳代	回答者数	1	0	1	0	2	0	4
	構成比	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
全体の回答者数		2	5	2	2	5	1	17
全体の構成比		11.8%	29.4%	11.8%	11.8%	29.4%	5.9%	100.0%

※ コメント

・病院への通院のみ一人で交通機関を利用

◆ 視聴覚障害組み合わせ(等級)と単独移動能力

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と単独移動能力

視聴覚障害 組み合わせ	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで 外出できる	バスや電車の交通機関を 利用して知っている場所に 外出できる	バスや電車の交通機関を 利用して知らない場所に 外出できる	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	0	2	1	1	2	1	7
	構成比	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	
視覚1・2級 聴覚3～6級	回答者数	2	3	0	1	2	0	8
	構成比	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	
視覚3～6級 聴覚2級	回答者数	0	0	1	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3～6級 聴覚3～6級	回答者数	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		2	5	2	2	5	1	17
全体の構成比		11.8%	29.4%	11.8%	11.8%	29.4%	5.9%	100.0%

◆ 視聴覚障害経緯(5分類)と単独移動能力

表:視聴覚障害経緯(5分類)と単独移動能力

視聴覚障害の 組み合わせの 経緯	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで 外出できる	バスや電車の交通機関を 利用して知っている場所に 外出できる	バスや電車の交通機関を 利用して知らない場所に 外出できる	総計
先天性	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	0	2	2	0	0	1	5
	構成比	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
後天性(成人期)	回答者数	1	1	0	2	4	0	8
	構成比	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	1	0	0	1	0	2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
その他	回答者数	1	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		2	5	2	2	5	1	17
全体の構成比		11.8%	29.4%	11.8%	11.8%	29.4%	5.9%	100.0%

問29 支援を受けた場合の移動能力

◆年齢階級と支援を受けた場合の移動能力

表:年齢階級と支援を受けた場合の移動能力

年齢階級	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に出る	バスや電車の交通機関を利用して知らない所に出る	総計
20歳代	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
30歳代	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
40歳代	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数	0	0	0	0	1	1	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
60歳代	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
70歳代	回答者数	0	0	1	0	0	3	4
	構成比	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	
80歳代	回答者数	0	0	1	1	0	1	3
	構成比	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	
90歳代	回答者数	1	1	0	0	0	2	4
	構成比	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
全体の回答者数		1	1	2	1	1	11	17
全体の構成比		5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	64.7%	100.0%

※ コメント

- ・施設内なら移動出来る
- ・盲ろう者向け通訳・介助員、同行援護従事者を利用すれば外出可能
- ・家族と一緒に車で出掛ける
- ・家族と一緒にならば電車で出かけられる
- ・脊柱管狭窄症のため、今は出掛けない

◆ 視聴覚障害組み合わせ(等級)と支援を受けた場合の移動能力

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と支援を受けた場合の移動能力

視聴覚障害組み合わせ	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に出出できる	バスや電車の交通機関を利用して知らない所に出出できる	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数 構成比	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	7
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数 構成比	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	8
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数 構成比	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数 構成比	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1
全体の回答者数		1	1	2	1	1	11	17
全体の構成比		5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	64.7%	100.0%

◆ 視聴覚障害経緯(5分類)と支援を受けた場合の移動能力

表:視聴覚障害経緯(5分類)と支援を受けた場合の移動能力

視聴覚障害の 受障害経緯の 組み合わせ	値	自宅内の移動ができない	自宅内の移動はできる	自宅周辺の歩行はできる	最寄りのバス停や駅まで外出できる	バスや電車の交通機関を利用して知っている所に出出できる	バスや電車の交通機関を利用して知らない所に出出できる	総計
先天性	回答者数 構成比	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1
盲ベース	回答者数 構成比	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
ろうベース	回答者数 構成比	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	5
後天性(成人期)	回答者数 構成比	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	5 62.5%	8
後天性(高齢期)	回答者数 構成比	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2
その他	回答者数 構成比	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
全体の回答者数		1	1	2	1	1	11	17
全体の構成比		5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	64.7%	100.0%

問30 外出頻度

※週に1～2日以下の方が、20%以上いる。

◆年齢階級と外出頻度

表：年齢階級と外出頻度

年齢階級	値	毎日	1週間に5～6日程度	1週間に3～4日程度	1週間に1～2日程度	2週間に1～2日程度	1ヶ月に1～2日程度	ほとんど外出していない	まったく外出していない	総計
20歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	1	0	3	0	0	0	0	0	4
	構成比	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	0	2	0	0	1	0	0	0	3
	構成比	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	0	0	0	1	0	1	1	1	4
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	
全体の回答者数		2	4	5	2	1	1	1	1	17
全体の構成比		11.8%	23.5%	29.4%	11.8%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と外出頻度

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と外出頻度

組視 み聴 合覚 わ障 せ害	値	毎日	1 週 5 に 6 日 程 度	1 週 3 に 4 日 程 度	1 週 1 に 2 日 程 度	2 週 1 に 2 日 程 度	1 ヶ月 1 に 2 日 程 度	外 出 ほ と ん ど い な い	外 出 ま つ た く い な い	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	1	2	3	1	0	0	0	0	7
	構成比	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3-6級	回答者数	1	2	2	0	1	1	1	0	8
	構成比	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	
視覚3-6級 聴覚2級	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
視覚3-6級 聴覚3-6級	回答者数	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		2	4	5	2	1	1	1	1	17
全体の構成比		11.8%	23.5%	29.4%	11.8%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と外出頻度

表:視聴覚障害経緯(5分類)と外出頻度

組受 み障 合経 わ緯 せの	値	毎日	1 週 5 に 6 日 程 度	1 週 3 に 4 日 程 度	1 週 1 に 2 日 程 度	2 週 1 に 2 日 程 度	1 ヶ月 1 に 2 日 程 度	外 出 ほ と ん ど い な い	外 出 ま つ た く い な い	総 計
先天性	回答者数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	2	0	1	0	0	0	1	5
	構成比	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
後天性(成人期)	回答者数	1	1	4	0	1	1	0	0	8
	構成比	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	回答者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		2	4	5	2	1	1	1	1	17
全体の構成比		11.8%	23.5%	29.4%	11.8%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	100.0%

問31 目的別外出頻度

※通院での外出が88.2%、買い物での外出が82.3%

	総 数	よ く あ る	と あ き ど き	ま な っ た く	総 計
通勤・通学	回答者数	1	0	16	17
	構成比	5.9%	0.0%	94.1%	
通所(施設やデイサービスなど)	回答者数	2	1	14	17
	構成比	11.8%	5.9%	82.4%	
通院(病院や診療所など)	回答者数	0	15	2	17
	構成比	0.0%	88.2%	11.8%	
金融機関 (銀行・郵便局など)	回答者数	1	9	7	17
	構成比	5.9%	52.9%	41.2%	
買い物	回答者数	9	5	3	17
	構成比	52.9%	29.4%	17.6%	
公的機関 (役所、福祉事務所など)	回答者数	0	11	6	17
	構成比	0.0%	64.7%	35.3%	
盲ろう者団体の会合・行事への参加	回答者数	4	0	13	17
	構成比	23.5%	0.0%	76.5%	
盲ろう者団体以外の会合・行事への参加	回答者数	0	2	15	17
	構成比	0.0%	11.8%	88.2%	
飲食、旅行、スポーツなどの余暇活動	回答者数	1	11	5	17
	構成比	5.9%	64.7%	29.4%	
別居の家族・親族、友人、知人に会う	回答者数	1	9	7	17
	構成比	5.9%	52.9%	41.2%	
その他	回答者数	1	1	15	17
	構成比	5.9%	5.9%	88.2%	

問32 相手別外出頻度

※88.3%の人が家族・親族と外出している。

	値	よく外出する	ときどき外出する	まったく外出しない	総計
家族・親族	回答者数	8	7	2	17
	構成比	47.1%	41.2%	11.8%	
友人(盲ろう者)	回答者数	2	3	12	17
	構成比	11.8%	17.6%	70.6%	
友人(盲ろう者以外)	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	
友人(盲ろう者以外) 以外の障害者の集まりの仲間	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	
近隣住民 (隣人・店員など)	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
ボランティア	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	
職場の同僚・上司	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
ガイドヘルパー (同行援護従事者)	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	
ホームヘルパー	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
手話通訳者・要約筆記者	回答者数	4	0	13	17
	構成比	23.5%	0.0%	76.5%	
盲ろう者通訳・介助員	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	
通所・入所施設 (相談支援事業所)の職員	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	
障害者団体関係者	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
医療関係者	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
教育機関関係者	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
民生委員・児童委員	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
その他	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	

問33 白杖の利用

※64.7%の方が白杖を利用していない。

	件数	構成比
利用している	6	35.3%
利用していない	10	58.8%
持っているが利用していない	1	5.9%
総計	17	100.0%

(2)同居者

問34 同居者

※一人暮らし4名の内、70歳代が1名、80歳代が1名、90歳代が2名である。

◆年齢階級と同居者

表：年齢階級と同居者

年齢階級	値	夫婦で暮らしている	親と暮らしている	子と暮らしている	兄弟姉妹と暮らしている	その他の人と暮らしている	一人で暮らしている	総計
20歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	0	2	0	0	0	0	2
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	2	0	1	0	0	1	4
	構成比	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
80歳代	回答者数	1	0	1	0	0	1	3
	構成比	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	
90歳代	回答者数	0	0	1	0	1	2	4
	構成比	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	
全体の回答者数		4	5	3	0	1	4	17
全体の構成比		23.5%	29.4%	17.6%	0.0%	5.9%	23.5%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と同居者

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と同居者

視 聴 覚 障 害 組 み 合 わ せ	値	夫婦 で 暮 ら し て い る	親 と 暮 ら し て い る	子 と 暮 ら し て い る	兄 弟 姉 妹 と 暮 ら し て い る	そ の 他 の 人 と 暮 ら し て い る	一 人 で 暮 ら し て い る	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	1	4	1	0	0	1	7
	構成比	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	3	1	1	0	1	2	8
	構成比	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	1	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		4	5	3	0	1	4	17
全体の構成比		23.5%	29.4%	17.6%	0.0%	5.9%	23.5%	

◆視聴覚障害経緯(5分類)と同居者

表:視聴覚障害経緯(5分類)と同居者

視 聴 覚 障 害 の 経 緯 組 み 合 わ せ	値	夫婦 で 暮 ら し て い る	親 と 暮 ら し て い る	子 と 暮 ら し て い る	兄 弟 姉 妹 と 暮 ら し て い る	そ の 他 の 人 と 暮 ら し て い る	一 人 で 暮 ら し て い る	総 計
先天性	回答者数	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	1	3	0	0	0	1	5
	構成比	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
後天性(成人期)	回答者数	2	1	2	0	0	3	8
	構成比	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	37.5%	
後天性(高齢期)	回答者数	1	0	1	0	0	0	2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	回答者数	0	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		4	5	3	0	1	4	17
全体の構成比		23.5%	29.4%	17.6%	0.0%	5.9%	23.5%	100.0%

問35 同居者とのコミュニケーション方法

【複数回答】

	人数	構成比
音声	11	45.8%
手話	1	4.2%
触手話	2	8.3%
弱視手話	1	4.2%
指文字(ローマ字式)	0	0.0%
指文字(日本語式)	0	0.0%
指文字(筆談)	2	8.3%
指文字(空書き)	0	0.0%
指文字(てのひら書き)	1	4.2%
点字筆記	0	0.0%
指点字	0	0.0%
その他	6	25.0%
コミュニケーションはとれない	0	0.0%

※その他の回答

- ・チャットアプリ
- ・音声アプリ
- ・キードスピーチ(P60 注1参照)
- ・テレグラム(匿名性とセキュリティが高い、無料の高速メッセージアプリ)

4. 情報入手

問36 文章を読むときの使用文字

【複数回答】

	件数	構成比
文字・活字	11	64.7%
点字	2	11.8%
その他	4	23.5%
特になし	4	23.5%

※その他の回答

- ・音声読み上げソフト
- ・代読
- ・デージー図書(視覚障害者向けデジタル録音図書)

問37 他者の支援を受けない独力での情報入手能力

◆年齢階級と独力での情報入手能力

表:年齢階級と独力での情報入手能力

年齢階級	値	まったく得ることができない	あまり得ることができない	どちらとも言えない	かなり得ることができる	すべて得ることができる	総計
20歳代	回答者数	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
40歳代	回答者数	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数	0	0	1	1	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	0	1	0	3	0	4
	構成比	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	0	0	0	1	2	3
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	1	1	0	1	1	4
	構成比	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	
全体の回答者数		1	2	1	8	5	17
全体の構成比		5.9%	11.8%	5.9%	47.1%	29.4%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と独力での情報入手能力

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と独力での情報入手能力

視聴覚障害組み合わせ	値	まったく得ることができない	あまり得ることができない	どちらとも言えない	かなり得ることができる	すべて得ることができる	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	0	0	0	5	2	7
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	1	1	1	2	3	8
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	0	0	1	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	1	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		1	2	1	8	5	17
全体の構成比		5.9%	11.8%	5.9%	47.1%	29.4%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と独力での情報入手能力

表:視聴覚障害経緯(5分類)と独力での情報入手能力

視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	値	まったく得ることができない	あまり得ることができない	どちらとも言えない	かなり得ることができる	すべて得ることができる	総計
先天性	回答者数	0	0	1	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	0	0	0	4	1	5
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	
後天性(成人期)	回答者数	0	1	0	4	3	8
	構成比	0.0%	12.5%	0.0%	50.0%	37.5%	
後天性(高齢期)	回答者数	0	1	0	0	1	2
	構成比	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
その他	回答者数	1	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		1	2	1	8	5	17
全体の構成比		5.9%	11.8%	5.9%	47.1%	29.4%	100.0%

問38 情報入手の頻度

◆年齢階級と独自での情報入手頻度

表: 年齢階級と独力での情報入手頻度

年齢制限	値	毎日	1週間に5～6日程度	1週間に3～4日程度	1週間に1～2日程度	2週間に1～2日程度	1ヶ月に1～2日程度	ほとんど情報を得ていない	まったく情報を得ていない	総計
20歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	3	0	0	0	0	0	0	1	4
	構成比	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
80歳代	回答者数	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	2	0	0	1	0	0	0	1	4
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
全体の回答者数		13	1	0	1	0	0	0	2	17
全体の構成比		76.5%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と独力での情報入手頻度

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と独力での情報入手頻度

組 視 み聴 合 覚 わ 障 せ 害	値	毎 日	1 週 間 に 5 日 程 度	1 週 間 に 3 日 程 度	1 週 間 に 1 日 程 度	2 週 間 に 1 日 程 度	1 ヶ 月 に 1 日 程 度	得 て い な い 情 報 を	得 て い な い 情 報 を	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	7	0	0	0	0	0	0	0	7
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3～6級	回答者数	5	1	0	0	0	0	0	2	8
	構成比	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
視覚3～6級 聴覚2級	回答者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
視覚3～6級 聴覚3～6級	回答者数	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体の回答者数		13	1	0	1	0	0	0	2	17
全体の構成比		76.5%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と独力での情報入手頻度

表:視聴覚障害経緯(5分類)と独力での情報入手頻度

組 視 み聴 合 覚 わ 障 せ 害 の 経 緯	値	毎 日	1 週 間 に 5 日 程 度	1 週 間 に 3 日 程 度	1 週 間 に 1 日 程 度	2 週 間 に 1 日 程 度	1 ヶ 月 に 1 日 程 度	得 て い な い 情 報 を	得 て い な い 情 報 を	総 計
先天性	回答者数	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	5	0	0	0	0	0	0	0	5
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
後天性(成人期)	回答者数	7	0	0	0	0	0	0	1	8
	構成比	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	
後天性(高齢期)	回答者数	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	回答者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		13	1	0	1	0	0	0	2	17
全体の構成比		76.5%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	100.0%

問39 手段別情報入手頻度

	値	よく 情報を得る	ときどき 情報を得る	まったく 情報を 得ない	総 計
一般図書・新聞・雑誌	回答者数	4	2	11	17
	構成比	23.5%	11.8%	64.7%	
録音図書・点字図書	回答者数	3	1	13	17
	構成比	17.6%	5.9%	76.5%	
インターネット (SNS、ホームページ・電子メール等)	回答者数	4	3	10	17
	構成比	23.5%	17.6%	58.8%	
ファックス	回答者数	0	1	16	17
	構成比	0.0%	5.9%	94.1%	
テレビ(一般放送)	回答者数	11	1	5	17
	構成比	64.7%	5.9%	29.4%	
手話放送・字幕放送	回答者数	1	0	16	17
	構成比	5.9%	0.0%	94.1%	
ラジオ	回答者数	5	0	12	17
	構成比	29.4%	0.0%	70.6%	
自治体広報	回答者数	1	5	11	17
	構成比	5.9%	29.4%	64.7%	
家族・支援者	回答者数	7	5	5	17
	構成比	41.2%	29.4%	29.4%	
その他	回答者数	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	

5 災害時の避難について

問40 災害時の支援者

※88.2%の方が「いる」と回答している。

◆ 年齢階級と災害時の支援者

表：年齢階級と災害時の支援者

年齢階級	値	いる	いない	総計
20歳代	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
50歳代	回答者数	2	0	2
	構成比	100.0%	0.0%	
60歳代	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	4	0	4
	構成比	100.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	3	0	3
	構成比	100.0%	0.0%	
90歳代	回答者数	2	2	4
	構成比	50.0%	50.0%	
全体の回答者数		15	2	17
全体の構成比		88.2%	11.8%	100.0%

※コメント

- ・支援者は家族(同居または近所に在中)、施設職員、自治会役員
- ・緊急通報装置で警備会社とつながっている

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と災害時の支援者

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と災害時の支援者

組 視 み 聴 合 覚 わ 障 せ 害	値	い る	い ない	総 計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	7	0	7
	構成比	100.0%	0.0%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	8	0	8
	構成比	100.0%	0.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	1	1
	構成比	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		15	2	17
全体の構成比		88.2%	11.8%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と災害時の支援者

表:視聴覚障害経緯(5分類)と災害時の支援者

視聴覚障害の 受障害者の 組み合わせ	値	いる	いない	総計
先天性	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	4	1	5
	構成比	80.0%	20.0%	
後天性(成人期)	回答者数	8	0	8
	構成比	100.0%	0.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	1	1	2
	構成比	50.0%	50.0%	
その他	回答者数	1	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	
全体の回答者数		15	2	17
全体の構成比		88.2%	11.8%	100.0%

問41 避難所の場所や避難経路の認知

※避難所や避難経路を知っているのは58.8%

◆年齢階級と避難所の場所や避難経路の認知

表:年齢階級と避難所の場所や避難経路の認知

年齢階級	値	避難所の場所も避難経路も知っている	避難所の場所は知っているが、避難経路は確認していない	避難所の場所も避難経路も知らない	総計
20歳代	回答者数	1	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	回答者数	1	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	回答者数	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
50歳代	回答者数	1	0	1	2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	
60歳代	回答者数	1	0	0	1
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	回答者数	4	0	0	4
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	
80歳代	回答者数	2	0	1	3
	構成比	66.7%	0.0%	33.3%	
90歳代	回答者数	0	0	4	4
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		10	0	7	17
全体の構成比		58.8%	0.0%	41.2%	100.0%

◆視聴覚障害組み合わせ(等級)と避難所の場所や避難経路の認知

表:視聴覚障害組み合わせ(等級)と避難所の場所や避難経路の認知

視聴覚障害組み合わせ	値	避難所も避難経路も知っている	避難所は知っているが、避難経路は確認していない	避難所も避難経路も知らない	総計
視覚1・2級 聴覚2級	回答者数	6	0	1	7
	構成比	85.7%	0.0%	14.3%	
視覚1・2級 聴覚3－6級	回答者数	4	0	4	8
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	
視覚3－6級 聴覚2級	回答者数	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
視覚3－6級 聴覚3－6級	回答者数	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		10	0	7	17
全体の構成比		58.8%	0.0%	41.2%	100.0%

◆視聴覚障害経緯(5分類)と避難所の場所や避難経路の認知

表:視聴覚障害経緯(5分類)と避難所の場所や避難経路の認知

視聴覚障害の 受障害経緯の 組み合わせ	値	避難場所も避難経路も 知っている	避難所は知っているが、 避難経路は確認していない	避難場所も避難経路も 知らない	総計
先天性	回答者数	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
盲ベース	回答者数	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	
ろうベース	回答者数	3	0	2	5
	構成比	60.0%	0.0%	40.0%	
後天性(成人期)	回答者数	6	0	2	8
	構成比	75.0%	0.0%	25.0%	
後天性(高齢期)	回答者数	1	0	1	2
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%	
その他	回答者数	0	0	1	1
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	
全体の回答者数		10	0	7	17
全体の構成比		58.8%	0.0%	41.2%	100.0%

問42 災害への備え

【複数回答】

	件数	構成比
家具の転落防止	7	41.2%
食糧・飲料などの備蓄	9	52.9%
非常用持ち出しバックの準備	8	47.1%
家族同士の安否確認方法を決める	4	23.5%
その他(具体的に)	1	5.9%

※その他・・・マンションに備蓄がある。消防署、役所など近所に全て揃っている。

問43 過去の災害で困ったことをお答えください。(自由記述)

- ・避難所に避難したとき、自分のような障害者に対応してくれるか心配。
- ・両親が亡くなって自分が一人になったとき災害が起きたらどうすれば良いか不安。
- ・大雨の時、地震でエレベータが止まった(3, 4日間)。
- ・交通機関が止まったため、会社に泊まった。
- ・3・11の時一人暮らしをしていた。買い物に行けず、食べるものもなくお菓子と水で過ごした。
- ・道が凸凹していて一人では歩けなかった。
- ・災害の情報がすぐに取れなかった。メールがパンクしてなかなか送受信できなかった。
- ・災害のあと、自宅に戻ったら家の中は食器が落ちていて大変だった。通訳・介助者に手伝ってもらってあと片付けをした。

問44 あなたが災害に対してもっている具体的な不安をお答えください。(自由記述)

- ・盲ろう者友の会の派遣や同行の事務所に連絡をして介助者を派遣してほしい。
- ・1人の時、避難所までいけない。行けても一人で身の回りのことは難しい。支援してもらえるかどうか不安。
- ・ケガが心配。避難所で過ごすと、どこに何があるかわからない。できるだけ自宅で過ごしたい。
- ・アナウンスの音が聞こえず、交通機関のダイヤの乱れなどの情報が分からない。
- ・足が弱いので、どのように逃げるか不安がある。杖は離さないようにしている。
- ・避難所に行くより自宅にいた方が良いのか？避難所になっている高校が、自宅と同じ高さで古いので、自宅にとどまった方が安全かもしれない。他の人とのコミュニケーションなど、避難所では右も左も分からず、何をどうしたら良いか分からない。家の方が様子が分かるし2, 3日なら食料もある。家で備蓄をしっかりとっておく方が良いのか。
- ・地震、火災の時は逃げるが、災害はいつ来るか分からない、寝室のドアはすぐに開けられるようにしている。
- ・トイレに困る(水が止まったら)。
- ・いつもそばに家族の誰かがいるので不安がない。

問45 あなたが必要だと思う支援についてお答えください。(自由記述)

- ・地域の人に対して、災害時に避難所で活かせる様々な障害者に対応するため勉強会などの企画が出来れば良い。
- ・誰かに来て欲しい。助けに来て欲しい。待つだけ。
- ・水の準備。

6 福祉サービスの認知状況・利用状況・不利用の理由

問46 人的支援による福祉サービス利用の有無

表: 人的支援による福祉サービス利用の有無

	値	通訳・介助員派遣	盲ろう者向け派遣	手話通訳者派遣	視覚障害者向け支援・同行援護	ホームヘルパー派遣	その他福祉サービス
毎日	回答者数	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%
1週間に5～6日程度	回答者数	0	0	0	0	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%
1週間に3～4日程度	回答者数	1	0	3	2	1	1
	構成比	5.9%	0.0%	17.6%	11.8%	5.9%	5.9%
1週間に1～2日程度	回答者数	1	0	1	4	2	2
	構成比	5.9%	0.0%	5.9%	23.5%	11.8%	11.8%
2週間に1～2日程度	回答者数	3	0	0	0	0	0
	構成比	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1ヶ月に1～2日程度	回答者数	0	1	0	0	0	0
	構成比	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ほとんど利用していない	回答者数	1	0	0	0	0	0
	構成比	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
まったく利用していない	回答者数	11	16	13	11	11	11
	構成比	64.7%	94.1%	76.5%	64.7%	64.7%	64.7%
全体の回答者数		17	17	17	17	17	17

※その他の福祉サービス

- ・住宅型有料老人ホーム
- ・就労移行支援
- ・生活介護事業所
- ・デイサービス

問47 人的福祉サービス不利用の理由

【複数回答】

	件数	構成比
福祉サービスがあることを知らなかった	2	11.8%
移動やコミュニケーションのことは自分でできるから	5	29.4%
家族がサポートしてくれるから	6	35.3%
福祉サービスの利用の仕方がよくわからない	2	11.8%
サービスを利用するまでの手続きが面倒だから	1	5.9%
その他	1	5.9%

※その他…住宅型有料老人ホームの入居中で施設内で介護

問48 人的支援による福祉サービスの利用希望有無

※盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業の利用を希望する人が9名いる。

表: 人的支援による福祉サービスの利用希望有無

	値	盲ろう者向け通訳・介助員派遣	手話通訳者、要約筆記記者派遣	視覚障害者向け移動・同行援護	ホームヘルパー派遣	その他福祉サービス
毎日	回答者数	0	0	0	0	0
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1週間に5～6日程度	回答者数	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%
1週間に3～4日程度	回答者数	1	0	3	2	0
	構成比	5.9%	0.0%	17.6%	11.8%	0.0%
1週間に1～2日程度	回答者数	2	0	1	3	2
	構成比	11.8%	0.0%	5.9%	17.6%	11.8%
2週間に1～2日程度	回答者数	3	0	1	0	0
	構成比	17.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
1ヶ月に1～2日程度	回答者数	3	1	4	1	0
	構成比	17.6%	5.9%	23.5%	5.9%	0.0%
ほとんど希望しない	回答者数	2	2	2	3	1
	構成比	11.8%	11.8%	11.8%	17.6%	5.9%
まったく希望しない	回答者数	6	14	6	8	13
	構成比	35.3%	82.4%	35.3%	47.1%	76.5%
全体の回答者数		17	17	17	17	17

問49 介護保険サービス利用有無

	件数	構成比
利用している	7	41.2%
利用していない	10	58.8%
総計	17	100.0%

問49-1 要支援・要介護制度

	件数	構成比
要支援1	1	16.7%
要支援2	0	0.0%
要介護1	5	83.3%
要介護2	0	0.0%
要介護3	0	0.0%
要介護4	0	0.0%
要介護5	0	0.0%
総計	6	100.0%

問50 補装具・日常生活用具の支給・給付の有無

	件数	構成比
支給・給付を受けている	15	88.2%
支給・給付を受けていない	2	11.8%
総計	17	100.0%

問50-1 給付・支給済の補装具・日常生活用具

【複数回答】

※補聴器は21.6%、盲人用安全つえ(白杖)は21.6%の人が給付を受けている。

	件数	構成比
盲人用安全つえ(白杖)	8	47.1%
義眼	0	0.0%
眼鏡(矯正眼鏡・遮光眼鏡・コンタクトレンズ・弱視眼鏡)	4	23.5%
電磁調理器	0	0.0%
盲人用体温計	1	5.9%
盲人用体重計	1	5.9%
盲人用時計	1	5.9%
点字ディスプレイ	0	0.0%
点字器	1	5.9%
点字タイプライター	1	5.9%
視覚障害者用拡大読書器	4	23.5%
視覚障害者用ポータブルレコーダー(プレクストーク)	3	17.6%
視覚障害者用活字読み上げ装置(文字を音声に変えて知らせる機器)	0	0.0%
歩行時間延長信号機用小型送信機(歩行者用信号の時間を延長する機器)	0	0.0%
補聴器	8	47.1%
聴覚障害者用屋内信号装置(物音や光を振動に変えて知らせる機器)	1	5.9%
聴覚障害者用通信装置(ファックス)	1	5.9%
聴覚障害者用情報受診装置(CS放送受信機「アイドラゴン」)	1	5.9%
その他	2	11.8%

※その他の回答

- ・タクシー券
- ・手すり

問51 ヘルプカードの認知

	件数	構成比
すでに利用している	7	41.2%
知っている	1	5.9%
知らない	9	52.9%
総計	17	100.0%

※コメント

知らないと回答した人には、ヘルプカードの手渡しと説明も行った

問52 利用を希望するサービス

	件数	構成比
自分のコミュニケーション方法の訓練	4	23.5%
自分以外の人とのコミュニケーション方法の訓練	2	11.8%
同じ障害のある人と交流ができる場	2	11.8%
創作活動やリクリエーションがができる場	5	29.4%
常時支援を受けながら生活を送ることのできる場	7	41.2%
その他	9	52.9%

※その他の回答

- ・緊急通報装置サービス
- ・盲ろう者向け老人ホーム
- ・同行援護
- ・希望しない

問53 生活全般の困難・ニーズ(自由記述)

—日常生活用具や生活の中で不安に思う事—

- ・補聴器の補助は受けられるのか。今は娘が買ってくれたものを10年位使用している。
- ・盲ろう者友の会で福祉機器の展示をしたときに、火災報知機で大きな音で知らせてくれるものも補助が受けられると聞いた。区役所に行って尋ねたがわからなかった。そのようなものがあるのかと言われた。
- 視覚障害者、聴覚障害者だけではなく、盲ろう者に対応する福祉機器について、いろいろ教えてもらいたい。
- ・身体は動くので、現状で十分です。ヘルパーさんが来てくれるので大丈夫。
- ・シルバーカーを借りたい。

—日常生活でのニーズ—

- ・家の片づけを手伝ってほしい。
- ・料理を作りたい(教えて欲しい)。
- ・趣味でプラモデルを作っているが、色が見えないので他の人に教えてもらい、色の名前を点字シールにしてボトルに貼っている。最初から商品に点字がついていれば良い。
- ・音声で色を教えてくれるアプリがあると聞いた。それを点字ディスプレイとつなげられると良い。
- ・自分の趣味である俳句を通して、50～60代の通訳・介助員と趣味仲間として交流したい。
- ・白杖を購入して、歩行訓練を受けたい。
- ・妻や家族が帰省するとき、今はヘルパーさんや友達に頼んでもらっているが、そんな時に使える制度が欲しい。
- ・眼科の医師から、盲ろう者は介護の申請が難しいと言われている。もしショートステイを使うとしても、場所が変わると一人では動けないので、自宅で支援を受けられると良い。
- ・お風呂や身の回りのことはできるが、食事が心配。介護保険以外で使えるサービスはないか知りたい。

ー将来のこと・不安に思っていることー

- ・(親の立場での意見)親がいなくなってしまう生活ができる場所(盲ろう者のグループホーム)が欲しい。
- ・(当事者として)グループホームは門限などたくさんのルールがあり、自由がないイメージ。そういうところには入所したくない。
- ・福祉サービスなどの窓口は、ワンストップで話を聞いていただけると良い。過去にいろんな部署をたらい回しされて苦労した経験がある。
- ・自分が動けなくなったら入れる施設を、今のうちに自分の目で探しておきたい(まだ視力が残っているので、施設内の様子が見られるうちに)。
- ・困ることはその時々によるが、部屋の中で物を落とした時に探せない、見つけられない。
- ・全く見えなくて、聞こえなくなることへの不安。
- ・急に体調が悪くなった時(急病)、不安がある。
- ・信号が見えづらくなったが、横断する人の動きに合わせて渡るようにしている。
- ・両親が亡くなったあと、どうやって生活していけるのか。一人になったら、行くところがなくて心配。
- ・体力が無いので仕事はできない。2歳違いの姉がいるが、姉にも自分の生活がある。
- ・障害者年金だけで生活ができるのか。できれば千葉市内で生活できる場所があると良い。

問54 盲ろう者関係団体からの案内の希望の有無

	件数	構成比
希望する	14	82.4%
希望しない	3	17.6%
無回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

令和7年度 千葉市 盲ろう者実態調査 報告書

編集・発行 千葉市保健福祉局高齢障害部 障害者自立支援課
〒260-8722 千葉市中央区千葉港 1-1 高層棟 9 階
電話 043-245-5175
FAX 043-245-5549
メール shogaijiritsu.HWS@city.chiba.lg.jp

